さくいん

あ
アングル切り換え……25
液晶プロジェクター……28
お手入れ……35
オールグループ再生……15
音声切り換え……16

か
カスタムサウンドメモリー……23

さ
再生速度の微調節……27
視聴制限……28
字幕切り換え……16
消音……31
初期設定……28
スキップ……13
スーパーサラウンド……23
ズーム……17
スリープ……31
スロー再生……13
センターフォーカス……22

た
ディスク情報……25
ディマー……31
ドルビーデジタル……22
ドルビープロロジック……22

は
早送り、早戻し……13
プレイリスト再生……19
プログラム再生……15
プログラムナビ再生……19
プログレスインジケーター……27
ポジションメモリー……12
本機情報……26

ま
マーカー……17

ら
ラジオを聞く……20
ランダム再生……15
リピート再生……14
リマスター……23
リモコンで操作
　液晶プロジェクター、テレビ…32、33
　ビデオデッキ……33
　BSデジタルハイビジョンチューナー……33

アルファベット
A-Bリピート再生……14
BSデジタル放送……21
CDテキストのメニュー再生……18
DTS……22
MP3のメニュー再生……18
SFC……23
TVアスペクト……10
WMAのメニュー再生……18

愛情点検

長年ご使用のDVDシステムの点検を！

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・音が出ないことがある ・正常に動作しないことがある ・商品に破損した部分がある ・その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

品番	SC-MT1	お買い上げ日	年　月　日	販売店名	☎（　）　－	お客様ご相談窓口	☎（　）　－

松下電器産業株式会社　AVCネットワーク事業グループ
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号

RQT6671-S
F1002HT0

Panasonic　DVDシステム　SC-MT1　取扱説明書

Panasonic®

DVDシステム

操作編　取扱説明書

品番　SC-MT1

操作の前に、別冊の設置接続編をよくお読みのうえ、設置、接続を行ってください。

このたびは、DVDシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付　　上手に使って上手に節電

RQT6671-S

本機の特長

DVD-RAM対応

当社製DVDビデオレコーダー／DVDビデオカメラで録画したDVD-RAMディスクを再生して楽しむことができます。

AACデコーダー内蔵

AACで圧縮されたBSデジタル放送の音声を楽しむことができます。

お部屋が映画館に早変わり

当社製液晶プロジェクター（TH-AE200/TH-AE300）と組み合わせることにより、大画面で迫力ある映像をお部屋で楽しむことができます。さらに当社製BSデジタルハイビジョンチューナー（TU-BHD300）と組み合わせることで、BS/CSデジタルハイビジョン放送を映画館のように大画面、高音質、マルチチャンネルで楽しむことができます。

DVDビデオのリージョン番号について

発売地域ごとに、DVDビデオのソフトと再生可能機器に割り当てられた番号をリージョン番号と呼びます。
（本機のリージョン番号は「**2**」です。）

本機は、

「2」　「ALL」　「2」を含むもの（例）

が表示されたDVDビデオを再生できます。

説明書の読みかた

説明書について

以下の2部構成になっています。

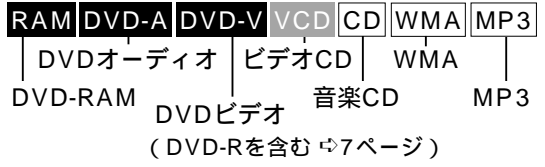
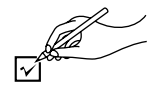
- **設置接続編**
  スピーカーの設置から接続までを説明しています。
- **操作編**
  DVDの再生など、操作を中心に説明しています。

本機を使っていくうえで困ったときは、36～40ページをお読みください。

操作編で用いている記号について

■ 使えるディスク

ディスクの種類（DVD-RAMやDVDビデオなど）によって、使える機能が異なります。

記号	ディスク
RAM	DVD-RAM
DVD-A	DVDオーディオ
DVD-V	DVDビデオ（DVD-Rを含む ⇨7ページ）
VCD	ビデオCD
CD	音楽CD※
WMA	WMA
MP3	MP3

※ CD（テキスト）：CDテキストのみの場合

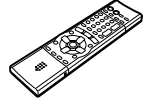
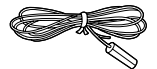
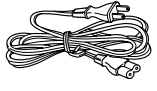
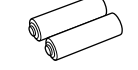
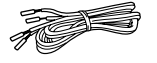
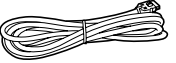
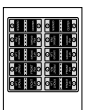
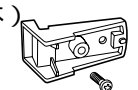
ディスクによっては、これらの記号が付いている場合でも、できないものがあります。

<ディスクの構成例>

RAM	番組1	番組2	番組3	番組4	番組5

DVD-A / WMA / MP3	グループ1			グループ2	
	トラック1	トラック2	トラック3	トラック1	トラック2

DVD-V	タイトル1			タイトル2	
	チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター1	チャプター2

CD / VCD	トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5

別売品の品番は、2002年9月現在のものです。品番は変更されることがあります。

付属品の確認

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。カッコ（ ）内は、買い替えの品番です。

- □ リモコン（1コ）（EUR7622010）
- □ FM簡易型アンテナ（1本）（RSA0007）
- □ AMループアンテナ（1本）（N1DAAAA00001）
- □ 電源コード（1本）（RJA0012-K）
  本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- □ リモコン用単3形乾電池（2本）
- □ スピーカーコード（5本）
  2本（REE1203C）：10m
  3本（REE1203A）：4m
- □ 映像ケーブル（1本：5m）（RJL1P030B50）
- □ システムケーブル（1本）（K1HA25JA0002）
- □ スピーカーラベル（1枚）（RQCA1029）
- □ スペーサー（1個）とネジ（1本）（RYQ0415-S）
もくじ

準備

安全上のご注意....4
リモコンの準備....6
ディスクについて....7
各部のなまえとはたらき....8
テレビに合わせて設定....10

使う

ディスクを再生....11
● メニュー画面が表示されたら....11
● 記憶させた位置から再生／コマ送り•コマ戻し 番組•タイトル•曲を番号指定で再生....12
● 早送り•早戻し／スロー再生／番組•場面•曲を飛び越す／グループを選んで再生....13
便利な再生方法....14
● 繰り返し再生／お好みの2点間を繰り返し再生....14
● 順不同に再生／お好みの順に再生／すべてのグループを順に再生....15
映画や音楽をもっと楽しむ....16
● 音声切り換え／字幕切り換え....16
● 好みの位置を記憶／映像を拡大....17
WMA・MP3・CDテキストのメニュー再生....18
RAMの番組・プレイリストを再生....19
ラジオを聞く....20
BSデジタル放送を楽しむ....21

もっと使いこなす

さまざまな音場・音質効果を楽しむ....22
● ドルビーデジタル •DTS....22
● ドルビープロロジック....22
● サブウーハーの低音を調整....22
● センターフォーカス....22
● 音声を2chに集約....22
● SFC／スーパーサラウンド....23
● お好みの設定を記憶させる....23
● より自然な音質で聞く....23
スピーカーの出力レベル調整....24
絵表示（GUI画面）を使って操作する....25
初期設定を変える....28
便利な機能....31
● 表示窓の表示を暗くする....31
● 一時的に音を消す....31
● 指定した時間に電源を切る....31
ヘッドホンを使う....31
テレビ、ビデオ、BSデジタルチューナー、液晶プロジェクターを操作する....32
より良い映像を楽しむ....34
屋外アンテナを接続....34

もし必要なとき

ディスクの扱い....35
プログレッシブ対応テレビ一覧／お手入れ....35
お電話の前に一度ご確認を
Q&A（よくあるご質問）....36
困ったときは....37
用語解説....40
著作権....41
主な仕様....41
保証とアフターサービス....42
さくいん....裏表紙

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■**表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠ 警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■**お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときはプラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造したりしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

⚠ 警告

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

不安定な場所に設置しない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **取扱説明書に記載されている以外の方法で壁などへ取り付けない。**

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

スピーカーは付属のものを接続する

- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスクトレイの挿入口の奥に手を入れない

指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

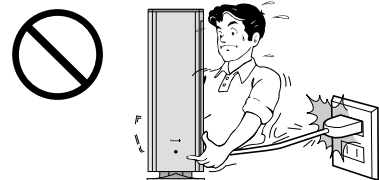
機器に乗らない

- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

●接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
●また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

電池は正しく取り扱う

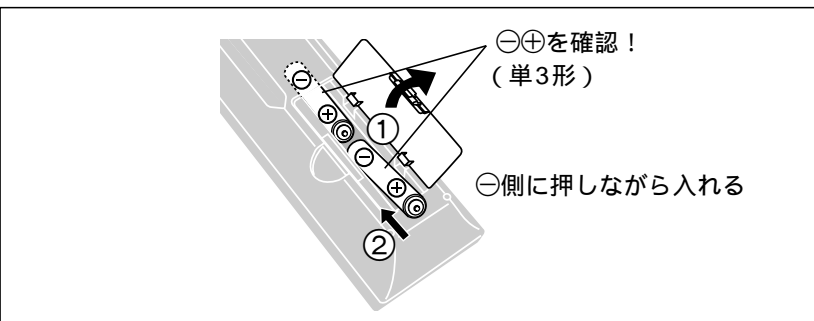
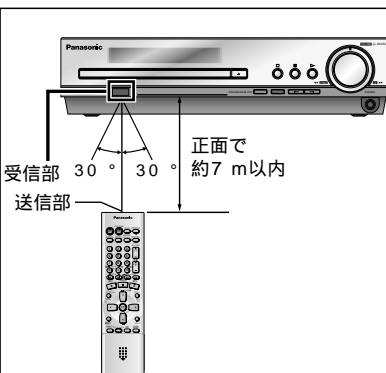
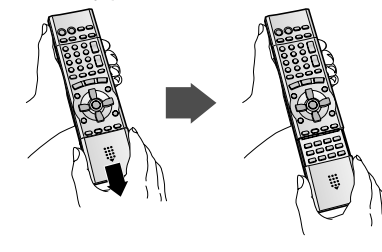
●⊕と⊖は正しく入れる
●長期間使用しないときは、取り出しておく

電池は誤った使い方をしない

●新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
●乾電池は充電しない
●加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
●ネックレスなどの金属物といっしょにしない
●乾電池の代用として充電式電池を使わない
●被覆のはがれた電池は使わない

●取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
●万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
●液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

リモコンの準備

乾電池の入れかた

リモコンの使いかた

ふたの開けかた

■使用上のお願い
● 受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
● 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
● 受信部と送信部のほこりに注意する。

■送信部はふさがない
手に持ったとき、指で送信部をふさがない。

■故障防止のために
● 分解、改造しない。
● 重いものを載せない。
● 直射日光の当たるところに放置しない。
● ジュースなど、液状のものをこぼさない。

■本体をラックに入れて使用するとき
ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

ディスクについて

再生できるディスク

ロゴマーク

上記ロゴマークの入ったものなど、それぞれの規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用すると正しく再生できない場合があります。

■ DVD-RAMディスク

以下の条件に合ったディスクが再生できます。

タイプ	●カートリッジなし ●カートリッジ付で取出しできるもの（TYPE 2、TYPE 4）
容量	9.4 GB (両面、12 cm) 4.7 GB (片面、12 cm) 2.8 GB (両面、8 cm)
記録媒体	DVDビデオレコーダー、DVDビデオカメラ、パソコンなどビデオレコーディング規格Ver.1.1（ビデオ録画のための統一規格）で記録されたディスク

● カートリッジ付ディスクを再生するときは、必ずディスクをカートリッジから取り出し、使用後は、カートリッジに収納してください。（詳しくはディスクに付属の説明書などをご参照ください。）
● 取り出したディスクに傷や汚れを付けないでください。
● 番組と番組のつなぎ目部分など、なめらかに再生できない場合があります。

■ DVD-Rディスク

当社製DVDビデオレコーダーまたはDVDビデオカメラで録画し、ファイナライズ※した当社製DVD-Rは「DVDビデオ」として再生できます。

■ CD-R/RWディスク

CD-DA、ビデオCD、WMA、MP3のいずれかのフォーマットで記録し、録音終了時にファイナライズ※した音楽用CD-R/RWが再生できます。
※ 再生対応機器で再生できるよう処理すること

■ MP3ディスク

● 静止画データの入ったMP3ファイルを再生すると、曲が再生されるまでに時間がかかることがあります。その間の再生経過時間は表示されません。曲の再生が始まっても正確に時間が表示されないことがあります。
● 本機はID3タグには対応していません。

お知らせ
● DVDオーディオ、DVDビデオ、ビデオCDのなかには、ディスク側の制約により、本書の記載どおりに動作しないものがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。たとえば表示窓に再生時間が表示されないディスクやメニュー画面を持ったビデオCDでは、一部の機能が働きません。
● DVD-RAM、DVD-R、CD-R/RWは、使用するディスクや記録状態により再生できない場合があります。

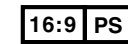
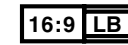
PAL方式で記録されたDVDオーディオの再生について
PALからNTSCに方式を変換して再生します。映像を縮小して全体を表示しますが、上下に引き延ばされた画面になることがあります。

再生できないディスク

● リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
● PAL方式で記録されたディスク（DVDオーディオは再生できます。⇨ 左下記）
● DVD-RAM（2.6 GB、TYPE1）
● DVD-ROM ● +RW ●DVD-RW
● CD-ROM ● CD-G ● CVD
● SACD ● CDV ● Photo-CD
など

ジャケット上のマーク

<画面サイズ（横：縦）>

● **標準（4：3）サイズ**

● **レターボックス**
4：3で上下に黒帯が入った画面

16:9 LB
● **ワイド（16：9）サイズ**
標準（4：3）サイズのテレビでは、レターボックスで再生

16:9 PS
● **ワイド（16：9）サイズ**
標準（4：3）サイズのテレビでは、パン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生

<記録されている音声の種類>

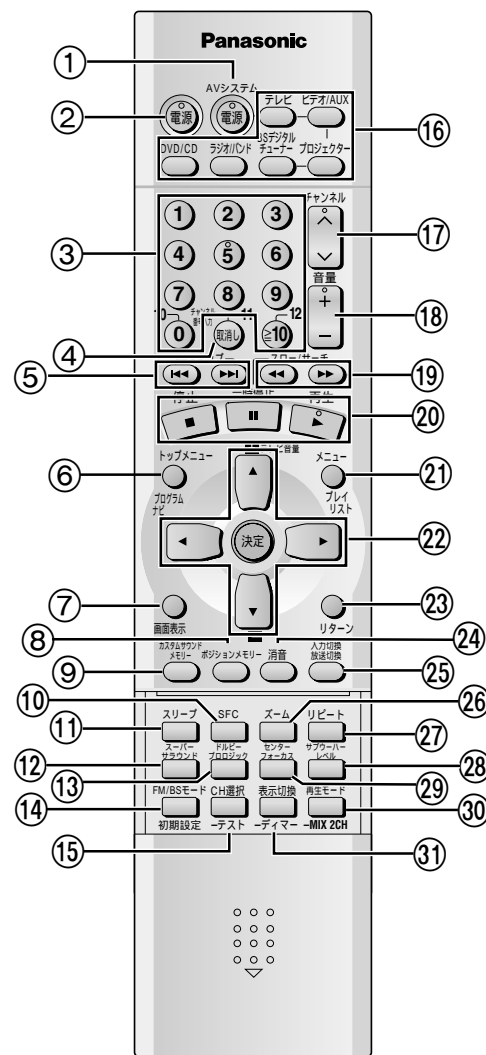
DOLBY DIGITAL / DIGITAL dts SURROUND / dts ES

本機は、ドルビーデジタル／DTSの5.1チャンネルデコーダーを内蔵しています。ドルビーデジタルサラウンドEX、DTS-ESなど5.1を超えるチャンネル数で記録されたディスクは、5.1チャンネルで再生します。

<その他>

音声数 字幕数 アングル数

各部のなまえとはたらき （ ）内は参照ページです。

リモコン

① **[電源、AVシステム]ボタン**（32）
当社製液晶プロジェクターなどの電源を入れる。

② **[電源]ボタン**（10）
本体の電源を入れる。

③ **数字ボタン**（11）

④ **[取消し]ボタン**（15）
入力した数字を取り消す。

⑤ **[|◀◀、▶▶|]（スキップ）ボタン**（13）

⑥ **[トップメニュー、プログラムナビ]ボタン**（11、19）
ディスクメニューやプログラムナビ画面を表示する。

⑦ **[画面表示]ボタン**（25）
GUI画面を表示する。

⑧ **[ポジションメモリー]ボタン**（12）
電源を切る、ソースを切り換える、またはディスクを入れ換えても再生位置を記憶させる。

⑨ **[カスタムサウンドメモリー]ボタン**（23）
ディスクごとにSFCやスーパーサラウンドなどの設定を記憶させる。

⑩ **[SFC]ボタン**（23）
さまざまな音場・音質効果を付ける。

⑪ **[スリープ]ボタン**（31）
指定した時間に電源が切れるように設定する。

⑫ **[スーパーサラウンド]ボタン**（23）
ステレオ音声にサラウンド効果を付ける。

⑬ **[ドルビープロロジック]ボタン**（22）
臨場感あるサラウンドサウンドを楽しむ。

⑭ **[FM/BSモード、初期設定]ボタン**（10、20、21、30）
強制モノラルや二ヵ国放送に切り換える。
初期設定を変更する。

⑮ **[CH選択、－テスト]ボタン**（24）
各スピーカーからの出力レベルを調整する。
各スピーカーからテスト信号を出す。

⑯ **ソース切り換えボタン**（10、20、32、33）
ソースとリモコン操作モードを切り換える。
ただし、本体に向けて押さなければ、リモコン操作モードのみが切り換わる。

⑰ **[チャンネル]ボタン**（20、32）
テレビ/ラジオのチャンネルを変える。

⑱ **[音量]ボタン**（11）
本体の音量を調整する。

⑲ **[◀◀、▶▶]（スロー/サーチ）ボタン**（13）
一時停止中：スロー　　再生中：サーチ

⑳ **基本操作ボタン**（11）
▶（再生）　❚❚（一時停止）　■（停止）

㉑ **[メニュー、プレイリスト]ボタン**（11、19）
ディスクメニューやプレイリスト画面を表示する。

㉒ **[▲、▼、◀、▶] ボタン/[決定]ボタン**（10、32）
▲、▼：カーソル上下、テレビ音量大小

㉓ **[リターン]ボタン**（10）
ひとつ前の画面に戻る。

㉔ **[消音]ボタン**（31）

㉕ **[入力切換、放送切換]ボタン**（32、33）
ビデオ入力、BSとCSを切換える。

㉖ **[ズーム]ボタン**（17）
映像を拡大する。

㉗ **[リピート]ボタン**（14）
曲や番組を繰り返す。

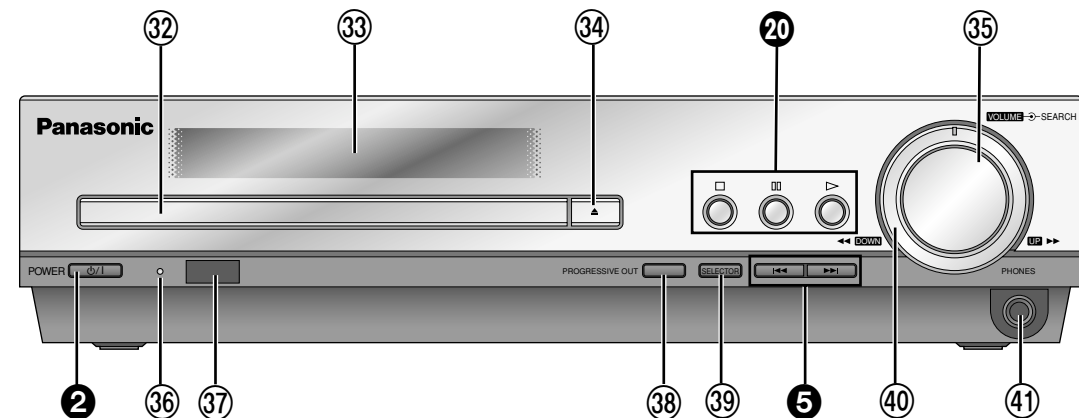
㉘ **[サブウーハーレベル]ボタン**（22）
低音を調整する。

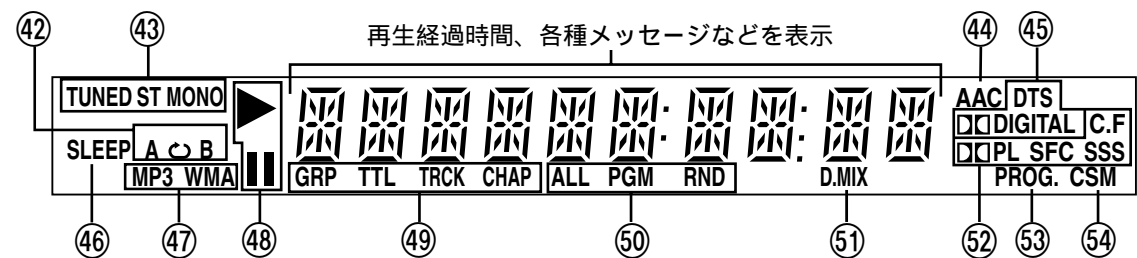
㉙ **[センターフォーカス]ボタン**（22）
センタースピーカーからの音声を画面の中央に集める。

㉚ **[再生モード、－MIX 2CH]ボタン**（15、22）
「オールグループ再生」「プログラム再生」「ランダム再生」を切り換える。
音声を2チャンネルに集約する。

㉛ **[表示切換、－ディマー]ボタン**（21、31）
現在の設定を確認する。表示窓を暗くする。

本体

❷、❺、⓴のボタンは、リモコンのボタンと同じはたらきをします。

㉜ **トレイ**（11）
㉝ **表示窓**（下記）
㉞ **[▲]（トレイ開閉）ボタン**（11）
㉟ **[VOLUME]（音量調整）つまみ**（11）
㊱ **通電ランプ**
㊲ **リモコン受信部**（6）
㊳ **[PROGRESSIVE OUT]（プログレッシブ出力）ボタン**（11）
㊴ **[SELECTOR]（ソース切り換え）ボタン**
DVD/CD ──→ FM ──→ AM
↑　　　　　　　　↓
VCR/AUX ← TV ← BS TUNER
㊵ **シャトルダイヤル**（13）
㊶ **[PHONES]（ヘッドホン）端子**（31）

表示窓

㊷ **リピート表示**
↻：リピート
A ↻ B：A-Bリピート

㊸ **ラジオ放送表示**
TUNED：ラジオ放送受信
ST/MONO：ステレオ/強制モノラル

㊹ **AAC受信表示**

㊺ **音声フォーマット**
DTS：DTS
DD DIGITAL：ドルビーデジタル

㊻ **スリープ表示**

㊼ **WMA、MP3表示**

㊽ **再生表示**
▶（再生）　❚❚（一時停止）

㊾ **メイン表示部**
GRP：グループ番号　TTL：タイトル番号
TRCK：トラック番号　CHAP：チャプター番号

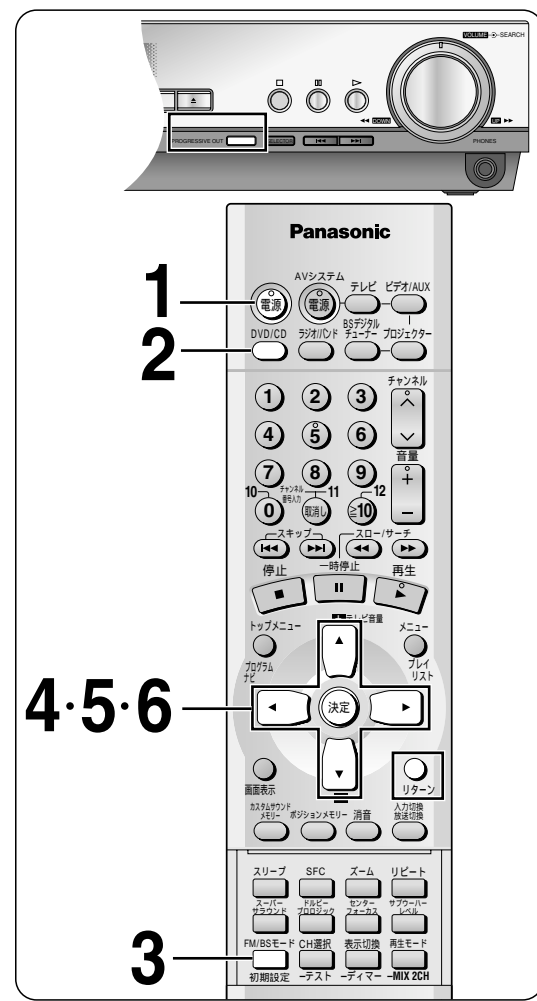
㊿ **再生状態表示**
ALL：オールグループ　PGM：プログラム
RND：ランダム

51 **D.MIX（ダウンミックス）表示**
点滅：マルチチャンネル信号を2チャンネルにダウンミックスできない状態

52 **音場・音質表示**
DD PL：ドルビープロロジック
SFC：サウンドフィールドコントロール
C.F：センターフォーカス
SSS：スーパーサラウンド

53 **プログレッシブ表示**

54 **カスタムサウンドメモリー表示**

テレビに合わせて設定

■ ひとつ前の画面に戻るには

[リターン]を押す

■ 設定を終了するには

[初期設定]を押す

操作の前に！

- テレビのビデオ入力（ビデオ1など）を切り換える。
- プログレッシブ対応テレビの場合、D映像端子またはコンポーネントビデオ端子を使って接続する。(⇨34ページ)

1 押して **電源を入れる**

2 押して **“ DVD/CD ”にする**

3 **押す**

お買い上げ後初めてのときは、基本的な設定が簡単に行える「クイックセットアップ」画面が表示されます。（次回から初期設定画面）

[▲、▼］と［決定］で

- **する** を選ぶと画面上のガイドに従って設定することができます。設定後、[決定]を押してください。(⇨右記)
- **しない** を選んだ場合は、次の手順に進んでください。「しない」を選んでも、再びガイドを表示させることができます。(⇨29ページ「クイックセットアップ」)

4 押して **“ 映像 ”を選ぶ**

5 押して **項目を選び、[決定]を押す**

6 押して **内容を選び、[決定]を押す**

TV アスペクト

- **標準（4：3）サイズのテレビ**
（16：9の映像の表示方法を選択）
  - **4：3 パン&スキャン**（お買い上げ時の設定）
左右の切れた映像
（パン＆スキャン）
パン＆スキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します。
  - **4：3 レターボックス**
上下に帯のある映像
（レターボックス）

- **ワイドサイズのテレビ**
  - **16：9**（必要に応じて、テレビ側の画面モードの設定も行ってください。）

接続するTV

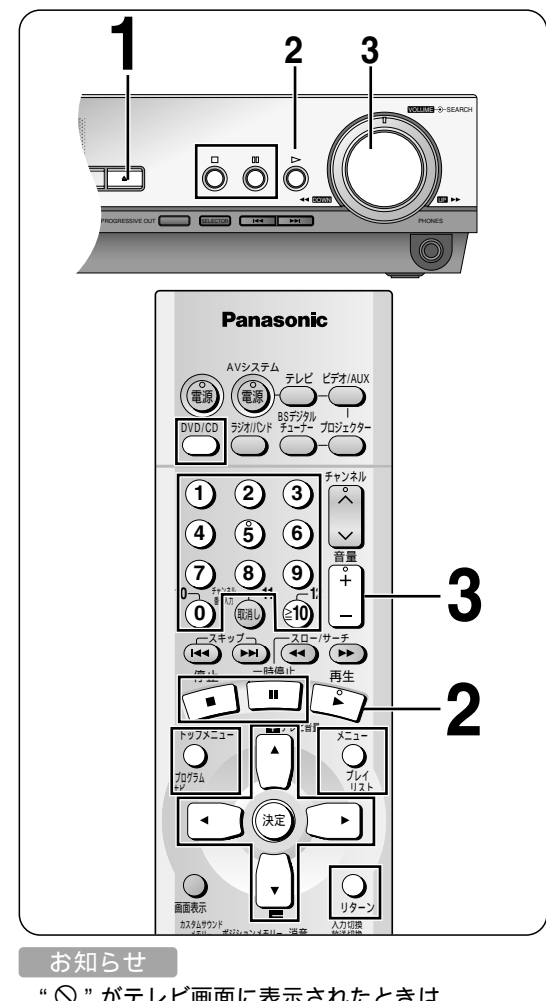
- **標準（ブラウン管テレビ）**（お買い上げ時の設定）
- **3管式プロジェクター**
- **液晶テレビ／プロジェクター**
- **プロジェクションテレビ**
- **プラズマテレビ**

プログレッシブ映像を楽しむには

PROGRESSIVE OUT **押す**

一瞬、画面が乱れますが、故障ではありません。

- 本機の映像出力端子またはS1映像出力端子を使ってテレビと接続したときは、表示窓の“ PROG. ”の点灯にかかわらず、インターレース出力になります。

ディスクを再生

お知らせ

- **“⊘”がテレビ画面に表示されたときは**
ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。
- 映像や音声が出るまでに時間がかかることがありますが、故障ではありません。

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

操作の前に！

リモコンの[DVD/CD]を押す

1 押して **トレイを開け、ディスクをおく**

再生したい側のラベルを上に

カートリッジ付ディスクは**カートリッジから取り出してください。**

2 押して **再生を始める**

3 押して **音量を調節する**

(**本体**では、内側つまみを回す）

－－dB（最小） 0dB（最大）

■一時停止するには

[❚❚]を押す（[▶]（再生）で通常再生）

■停止するには

[■]を押す（表示窓に“ RESUME ”と表示されたら ⇨12ページ「続き再生メモリー機能を使う」）

メニュー画面が表示されたら

DVD-A DVD-V VCD

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ≧10 **押す**

2ケタ数字の入力

例）25

[≧10]→［2］→［5］

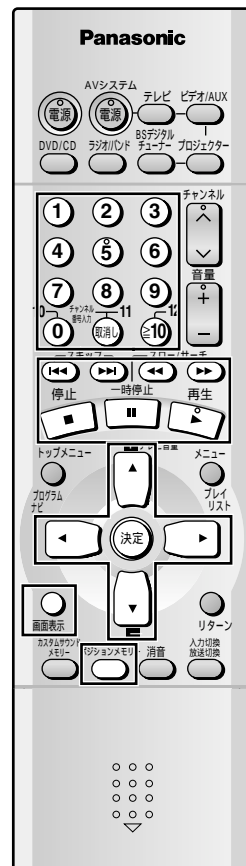
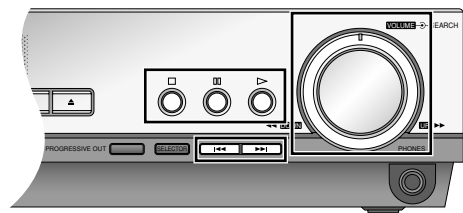
- DVDの場合、[▲、▼、◀、▶]で項目を選び、[決定]を押しても選べます。

■メニュー画面に戻すには

DVD-A DVD-V	[トップメニュー]（最初のメニュー画面）
DVD-V	[メニュー]（メニュー画面）
VCD	[リターン]

メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本体のモーターの保護と、テレビ画面への画像の焼き付き等を防止するため、続けて再生しないときは [■] を押して再生を停止してください。

WMA MP3 CD（テキスト）

画面の下部にトラック情報が表示されます。
トラック情報を消すには（⇨25ページ）
メニュー再生を使うと、より便利に操作できます。（⇨18ページ）

記憶させた位置から再生（ポジションメモリー機能）

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

再生中

ポジションメモリー **押す** 位置を記憶しました

続けて押すと上書きされます。

電源を切る、ソースを切り換える、または ディスクを取り出す

電源を入れる、ソースを“DVD/CD”にする、または位置を記憶させたディスクを入れ、“RESUME”が表示されたら

再生 **押す** RESUME

記憶した位置から再生が始まります。（この時点で**記憶は消去**）

- ディスク5枚分まで記憶可能です。6枚目以降は、一番古い記憶から順に消去されます。
- ディスクによっては、記憶できない箇所もあります。

続き再生メモリー機能を使う

再生中、[■]を押すと、停止した位置が記憶されます。“RESUME”表示中に［▶］（再生）を押すと、停止した位置から再生が始まります。
ただし記憶した位置は、電源を切る、ソースを切り換える、またはトレイを開けると解除されます。

あらすじリプレイ（同一タイトル内のみ）

DVD-V

“RESUME”表示中に［▶］（再生）を押すと、テレビにメッセージが表示されます。メッセージ表示中に[▶]（再生）を押すと、記憶した位置までの各チャプターの冒頭を再生した後、その位置から再生が始まります。
[▶]（再生）を押さずに放置しておくと、画面表示が消え、記憶した位置から再生が始まります。

■メモリー機能を解除するには

“RESUME”が消えるまで[■]を押す

コマ送り・コマ戻し

RAM DVD-A DVD-V VCD

（DVDオーディオは動画部のみ）

一時停止中

◄ ► **押す**

- 押し続けると、連続してコマ送り/コマ戻しができます。
- [▶]（再生）を押すと通常再生に戻ります。
- [❚❚]を押してもコマ送りできます。

番組・タイトル・曲を番号指定で再生

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

押す

2ケタ数字の入力

例）25

[≧10]→［2］→［5］

WMA MP3

［2］→［5］→［決定］

停止中でのみ働くディスクもあります。

早送り・早戻し

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

- 押すたびに（本体では回していくと）、速くなります。（5段階）
- シャトルダイヤルから手をはなす、または[▶]（再生）を押すと通常再生に戻ります。
- 音声を消すこともできます。（⇨28ページ「早送り時の音声」

■ 再生速度を微調節する DVD-V（⇨27ページ）

スロー再生

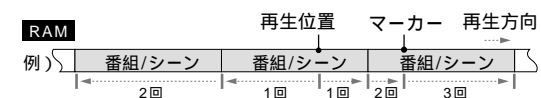
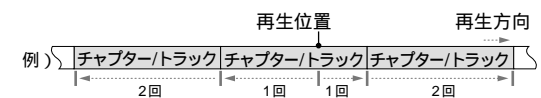
RAM DVD-A DVD-V VCD

（DVDオーディオは動画部のみ）

- 押すたびに（本体では回していくと）、速くなります。（5段階）
- シャトルダイヤルから手をはなすと一時停止し、[▶]（再生）を押すと通常再生に戻ります。

番組・場面・曲を飛び越す（スキップ）

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

押した回数だけ飛び越します。

- コマーシャルが録画されていると、そこにスキップすることがあります。

グループを選んで再生

DVD-A WMA MP3

再生中、数回押して
ディスク情報画面を出す

[◄、►]で左端のアイコンをハイライトさせ、

1 押して
グループ番号を選び［決定］を押す

2 押して
トラック番号を選び［決定］を押す

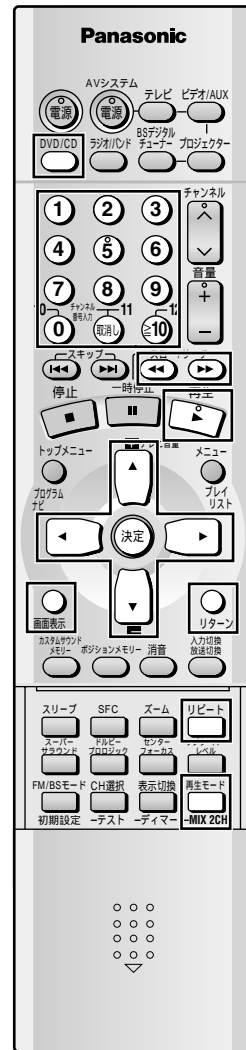
すべてのグループを再生する DVD-A （⇨15ページ）

■ ボーナスグループを再生する DVD-A

暗証番号の入力により再生可能になる「ボーナスグループ」を収録したディスク（ディスクのジャケットなどもご参照ください）

1 停止中、ボーナスグループを選ぶ（⇨上記手順）
2 数字ボタンで暗証番号を入力する
　[取消し]で消すことができます。
3 [決定]を押す
4 数字ボタンでトラック番号を選び、[決定]を押す

電源を切る、ソースを切り換える、またはトレイを開けると再び暗証番号の入力が必要になる場合があります。

便利な再生方法

繰り返し再生（リピート再生）

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

※オールグループ再生（DVD-A のみ）／プログラム再生／ランダム再生では“オール”と表示されます。

DVDビデオ、WMA、MP3のディスク全体、およびDVD-RAMの全プレイリストの繰り返し再生は選べません。

■ 好みのトラック/チャプターを繰り返し再生

DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

1 トラック/チャプターをプログラム再生する（⇨15ページ）
2 再生中に[リピート]で“オール”を選ぶ

お好みの2点間を繰り返し再生（A-Bリピート再生）

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

同一番組／タイトル／トラック内で指定した2点間を繰り返し再生することができます。

[◄、►]でA-Bリピートを選び

決定 始点（A点）で **押す**

決定 終点（B点）で **押す**

A-Bリピート再生が始まります。

● 表示を消すには、本機情報画面が消えるまで[リターン]を押す
● 通常再生するには、本機情報画面の“A-Bリピート”をハイライトさせた後、[決定]を押して“＊＊”を表示させる

オールグループ／ランダム／プログラム再生の共通操作

操作の前に！
リモコンの[DVD/CD]を押す

停止中

再生モード –MIX 2CH 押して **再生の種類を切り換える**

押すたびに
オールグループ再生(DVD-A)→プログラム再生
└ 通常再生 ←ランダム再生 ←┘

DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

順不同に再生（ランダム再生）

押して **タイトル（DVD-V）またはグループ（DVD-A）を選ぶ**

DVD-A
● 複数のグループが選べます。
● すべてのグループを選ぶには、[◄、►]で“オール”を選び[決定]を押す。
● グループを取り消すには、数字ボタンでグループ番号を入力する。

再生 **押す**

お好みの順に再生（プログラム再生）

最大32トラック（チャプター）まで好みの順に再生します。

例）DVDビデオ

DVD-V **押してタイトルを選び、続けてチャプターを選ぶ**

DVD-A WMA MP3 **押してグループを選び、続けてトラックを選ぶ**
● WMA MP3（トラック）ー選んだ後、[決定]を押す

VCD CD **押してトラックを選ぶ**

必要な回数だけ繰り返す

2ケタ数字の入力
例）25
[≧10]→[2]→[5]
WMA MP3：[≧10]不要

再生 **押す**

■ カーソルボタンでも選べます

[決定]を押して[▲、▼]で選び、[決定]で確定する“ALL”を選ぶと全曲（ディスクまたはタイトル、グループ内の全曲）が予約されます。

■ 予約を変更する

1 [▲、▼]で変更したい項目を選ぶ
2 追加：左記の手順で選ぶ
取消し：[取消し]を押す
● [▲、▼、◄、►]で“クリア”を選び、[決定]を押しても取り消せます。

■ 予約画面の前後のページを表示する

[◄◄]または[►►]を押す

■ 予約を全て取り消す

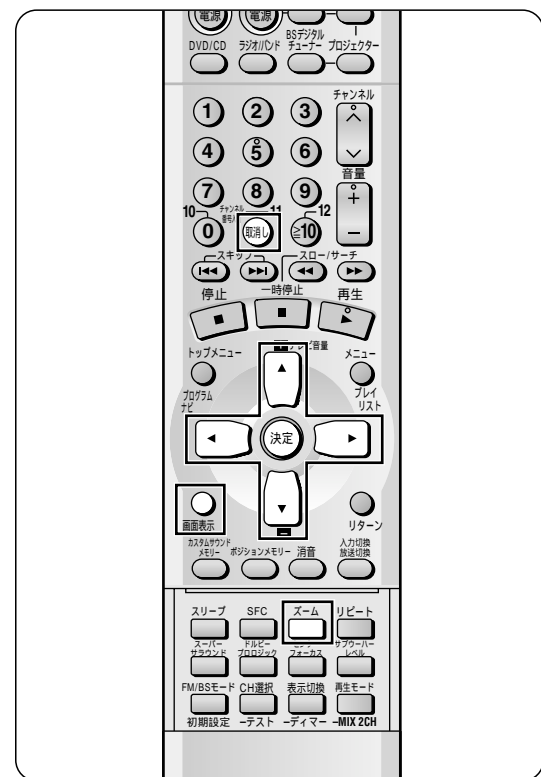
[▲、▼、◄、►]で“オールクリア”を選び、[決定]を押す

● DVD-V WMA MP3：
“タイム”は表示されません。
● 予約内容は電源を切る、ソースを切り換える、[再生モード]を押す、またはトレイを開けると取り消されます。

すべてのグループを順に再生（オールグループ再生）

DVD-A

DVD-A
プログラム／ランダム画面でボーナスグループを選んだときは、暗証番号（4ケタ）を入力してください。（⇨13ページ）

映画や音楽をもっと楽しむ

チャンネル（ch）について

3 / 2 / .1
- .1：LFE※あり（LFE※がない場合は、表示されません）
- 0：サラウンド信号なし
- 1：サラウンド信号（モノラル）あり
- 2：サラウンド信号（ステレオ）あり
- 1：センター
- 2：フロント（L／R）
- 3：センター＋フロント（L／R）

※ Low Frequency Effectsの略。低域強調チャンネルのこと。

音声切り換え

RAM DVD-A DVD-V VCD

（音声が複数記録されているディスク）

再生中、数回押して
ディスク情報画面を出す（⇨25ページ）

音声

押して
下記を選ぶ

DVD-A 再生中の音声番号 / DVD-V 音声属性（⇨下記） / RAM VCD

選んだ音声番号　音声言語（⇨下記）　チャンネル（⇨左記）　音声モード

押して
切り換える

- "—"、"- - -"表示：音声が記録されていません。

DVD-A
- （静止画付トラックと音声のみのトラック）
音声が切り換わると、トラックの先頭に戻ります。
- 2つ目の音声がなくても、通常は選んだ音声番号を2まで表示します。（再生中の音声番号は1のままです。）

字幕切り換え

DVD-A DVD-V（DVDオーディオは動画部分のみ）

（字幕が複数記録されているディスク）

RAM：字幕の「入」「切」のみできます。

再生中、数回押して
ディスク情報画面を出す（⇨25ページ）

字幕

押して
選ぶ

押して
切り換える

変更後は、字幕が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

"- -"表示：字幕が記録されていません。

■ 字幕を「入」「切」する

1 [◀、▶]を押して、下記をハイライトさせる

DVD-A DVD-V　　RAM

2 [▲、▼] を押す

■ 字幕位置／明るさの調節 DVD-A DVD-V

（⇨27ページ「表示設定」）

音声属性	音声／字幕言語		
LPCM／PPCM／DDDigital／DTS／MPEG：信号タイプ	日：日本語	伊：イタリア語	露：ロシア語
k：サンプリング周波数　b：ビット数	英：英語	西：スペイン語	韓：韓国語
ch：チャンネル数	仏：フランス語	蘭：オランダ語	＊：その他
	独：ドイツ語	中：中国語	

好みの位置を記憶（マーカー）

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

もう一度見たい／聞きたい箇所にマークを付けておくと、あとでそこから再生することができます。

再生中、数回押して
本機情報画面を出す（⇨26ページ）

押す
押して、「マーカー」を選び
[決定]を押す
RAM 続けて[▶]で"＊"を選ぶ

もう一度見たい／聞きたい箇所で押し、
マークを付ける

■他にマークを付けるには
（最大5箇所、DVD-RAMのみ999箇所）

[◀、▶] →マークを付けたいところで[決定]

■ マークを呼び出す、または取り消す

呼び出し：[◀、▶]→[決定]
取り消し：[◀、▶]→[取消し]

■11個以上マークを付けるには（RAMのみ）

1 [◀、▶]でマーカーピンアイコンをハイライトさせる

2 [▲、▼]で"11～20"を選ぶ
10個マークが付いてから、次の10番台が選べます。
- 本機で付けたマーカーは、電源を切る、ソースを切り換える、またはトレイを開けると取り消されます。

映像を拡大（ズーム）

RAM DVD-A DVD-V VCD

（DVDオーディオは動画部分のみ）

いろいろな横縦比の映像を拡大して、上下の黒帯をなくすことにより、お使いのテレビ画面サイズに近づけることができます。

操作の前に！

"初期設定"の"TVアスペクト"をテレビに合わせて設定してください。

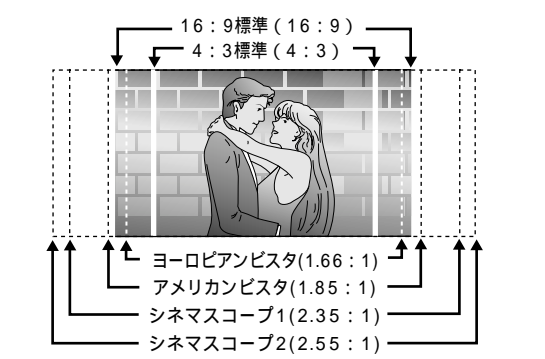
次の場合はズーム倍率が"×1.00"になります。
- メニュー画面表示中（"×1.00"にならない場合もあります）
- 電源を切る、ソースを切り換える、またはトレイを開けたとき

■ ズーム倍率を微調節する

ズームアイコン表示中、
[▲、▼]を押す

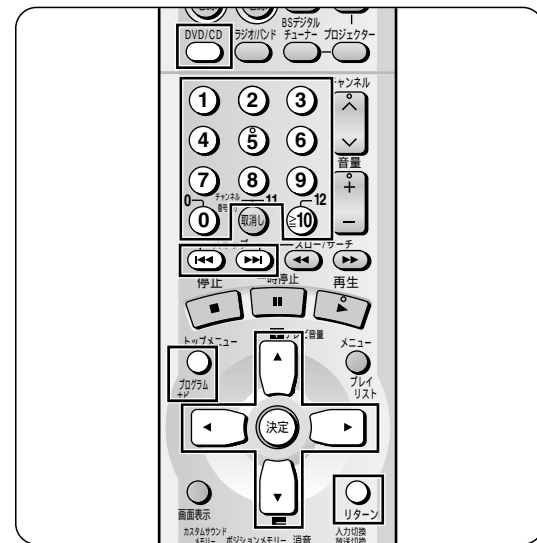
1.00倍～1.60倍まで0.01倍刻み、
1.60倍～2.00倍まで0.02倍刻みで調節

スクリーンサイズ（横縦比）

映画にはいろいろな横縦比のものがあります。

WMA・MP3・CDテキストのメニュー再生 WMA MP3 CD（テキスト）

WMA MP3
パソコン等でフォルダやファイルに付けた名前をそれぞれグループ名、トラック名として表示します。

CD（テキスト）
ディスクにテキスト情報が記録されている場合、ディスク/アーティスト/トラック名を表示します。

Windows Media、Windowsロゴは米国その他の国で米国Microsoft Corporationの登録商標または商標になっています。
WMA(Windows Media™ Audio) とは米国Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

操作の前に！
リモコンの[DVD/CD]を押す

押して
トラックを選び、
[決定]を押す
ディスクの最後まで続けて再生し、停止します。

前後のページを表示するには
[▲、▼、◀、▶]で"前ページ"、"次ページ"を選んで［決定］を押す
1つのグループのトラックをすべて表示してから、次のグループを表示します。

■メニュー画面を消すには
[トップメニュー]を押す

ディスクの全体図（ツリー画面）を見てグループを選ぶ WMA MP3

メニュー画面を表示中
1 **[▶]を押す**
選べない（WMA、MP3ファイルを含まない）グループ
2 **[▲、▼]でグループを選び［決定］を押す**
選ばれたグループのメニュー画面が表示されます。

曲情報を見る CD（テキスト）

メニュー画面を表示中
1 **[▲、▼]で曲を選ぶ**
2 **[▶]を押す**
曲情報が表示されます。

[◀、▶]で、他のトラックの曲情報が確認できます。
[決定]を押すと、メニュー画面に戻り、再生が始まります。

タイトル名を検索して再生

ひらがな、カタカナ、英数字を**ローマ字入力**で検索します。（**大/小文字は区別されません。**）
例）"うた"を含む曲を検索する
メニュー画面を表示中
1 **[▲、▼]で"検索"を選び[決定]を押す**

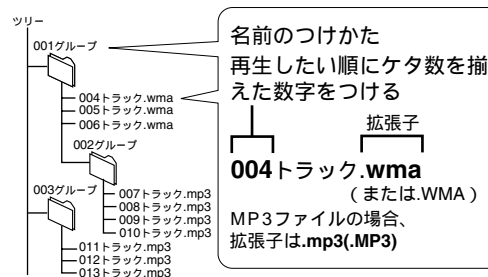
2 **[▲、▼]で"U"を選び[決定]を押す**
[▲]を押すたびに
A→B→…→Z→0→1→…→9
（数字はリモコンの数字ボタンでも入力できます。）
● [|◀◀、▶▶|]で「A、E、I、O、U」にスキップします。
● 確定した文字を変更するには[◀]で文字をハイライトさせてから選び直します。
続けて、"T""A"と入力します。
3 **[▶]で"検索"を選び、[決定]を押す**
検索結果が画面に表示されます。
4 **[▲、▼]で曲を選び[決定]を押す**
続きの曲は、[▼]を押し続けると表示されます。

■入力した文字で始まるタイトルを検索するには
手順1のあと、[◀]で"＊"を消してから入力する

■ひとつ前の画面に戻るには
[リターン]を押す

お知らせ
●使用できるフォーマット: ISO9660 level 1及びlevel 2（拡張フォーマットを除く）
●マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。セッション数は少なくすることをおすすめします。
●メニュー画面での表示の順番は、パソコンのディスプレイで表示される順番と違うことがあります。
●ディスクの作りかたによっては、順番通りに再生できないこともあります。

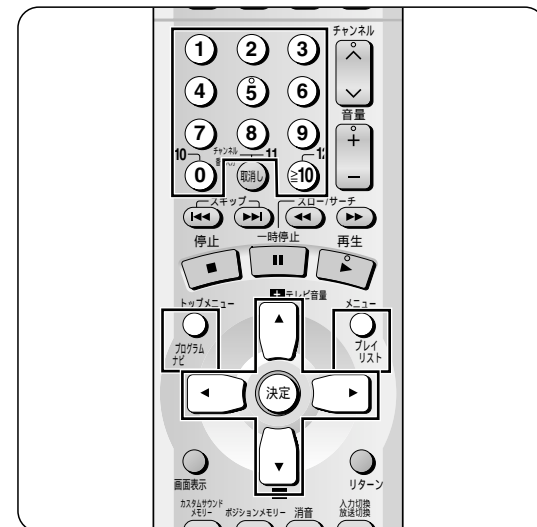
WMA
●再生中に雑音が生じることがあります。
●著作権保護されたファイルは再生できません。

再生される順番
WMA MP3

CD（テキスト）
市販のソフト等で作ったCDテキストは、タイトルの数字に関係なく作成したトラック順に再生します。
（詳しくはソフト等の説明書をご参照ください。）

RAMの番組・プレイリストを再生 RAM

番組を選んで再生
（プログラムナビ再生）

番組リストから選んで再生できます。

押して
見たい番組を選ぶ
背景では、選んだ番組が再生されます。
● 続きの番組は[▼]を押し続けると表示されます。

押す 背景で再生していた続きから再生されます。

プレイリスト再生

プレイリスト（お好みのシーンを集めたリスト）が再生できます。

押して
見たいプレイリストを選ぶ
● 続きのプレイリストは[▼]を押し続けると表示されます。

押す

● 番組やプレイリストは数字ボタンでも選べます。
2ケタ数字の入力
例）25：[≧10]→［2］→［5］

■番組リスト画面やプレイリスト画面を消すには
プログラムナビ再生：[プログラムナビ]を押す
プレイリスト再生：[プレイリスト]を押す
（リスト画面を呼び出したときの画面に戻ります。）

■表示窓に"S-PIC"と表示されたら
静止画を再生しています。

ラジオを聞く

1 [ラジオ/バンド] 押して

“FM”または“AM”を選ぶ

2 [スロー/サーチ ◀◀ ▶▶] 押して

好みの放送局を受信する

TUNED ：受信すると点灯

ST ：FMステレオ放送を受信すると点灯

自動選局（オートチューニング）するには、周波数が動き出すまで押す

放送局を受信すると、止まります。

好みの放送局を受信するまで、同じ操作を続けてください。

3 [音量] 押して

音量を調整する

－－dB（最小） 0dB（最大）

■FMステレオ放送で雑音が多いときは

[FM/BSモード]を押して、“MONO”を表示させる

強制的にモノラルになります。

押すたびに

MONO ⟷ ST

通常は“ST”にしておきます。

放送局を記憶させる

- 放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞くことができます。
- FM、AMとも15局まで記憶させることができます。

手動で記憶させるには

[ラジオ/バンド] 押して

“FM”または“AM”を選ぶ

[スロー/サーチ ◀◀ ▶▶] 押して

好みの放送局を受信する

[決定] **押す**

[チャンネル] “PGM”点滅中、押して

チャンネルを選ぶ

[決定] **押す**

自動で記憶させるには

[ラジオ/バンド] 押して、

“FM”または“AM”を選ぶ

[スロー/サーチ ◀◀ ▶▶] 押して、

AM：522、FM：76.0に合わせる

[決定] “FM AUTO”または“AM AUTO”が表示されるまで

押し続ける

受信した放送局を順に記憶していきます。

終了すると、“SET OK”と表示したあと、最後に受信した放送局を表示します。

- 前に記憶させたチャンネルは上書きされます。

■“ERROR”と表示したら

電波が弱いなどの原因で記憶できませんでした。

手動で行ってください。(⇨20ページ)

記憶させた放送局を聞く

[ラジオ/バンド]を押して、“FM”または“AM”を選ぶ。

[スキップ |◀◀ ▶▶|] 押して

チャンネルを選ぶ

■数字ボタンで選ぶこともできます

2ケタ数字の入力

例）12：[≧10]→［1］→［2］

BSデジタル放送を楽しむ

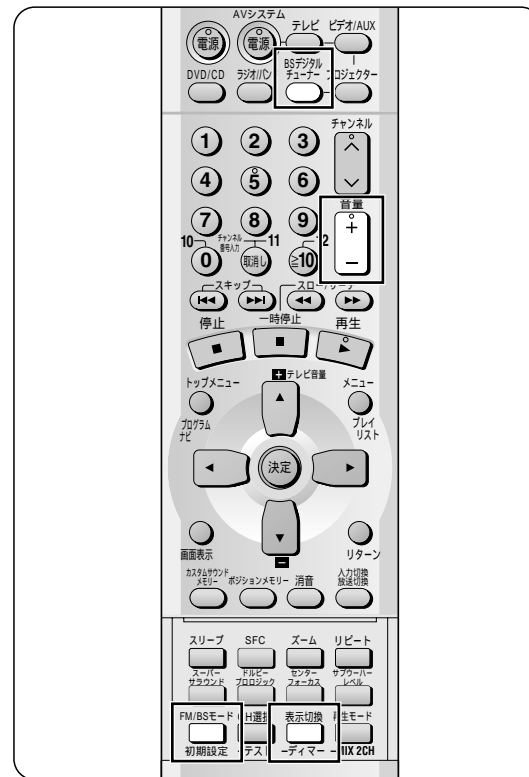
■表示窓に、“C_ONLY”と表示されたら

センターチャンネルのみの放送を受信しています。

■現在の受信を確認する

[表示切換]を押す

お知らせ

- AACで送られてきた二ヵ国語放送を受信しているときは、以下の効果は効きません。
  ドルビープロロジック／SFC／スーパーサラウンド
- BSデジタルチューナー内蔵テレビやCSデジタルチューナーなど、本機のリモコンで操作できないものもあります。

BSデジタルチューナー（または内蔵機器）を光ケーブルで接続して、AACで圧縮されたBSデジタル放送の音声を楽しむことができます。

操作の前に！

- リモコンの[BSデジタルチューナー]を押す
- 当社製BSデジタルハイビジョンチューナー（TU-BHD300、250、200）をお使いのときは、本機のリモコンで操作できます。(⇨33ページ)

お好みのチャンネルを選ぶ

[音量] 押して

音量を調整する

－－dB（最小） 0dB（最大）

■二ヵ国語放送の切り換え

音声信号（AAC/PCM）の切り換えは、BSデジタルチューナー側で操作してください。

AACで送られてきた、またはBSデジタルチューナー側でAACに変換された二ヵ国語放送は下記の操作で音声切り換えができます。

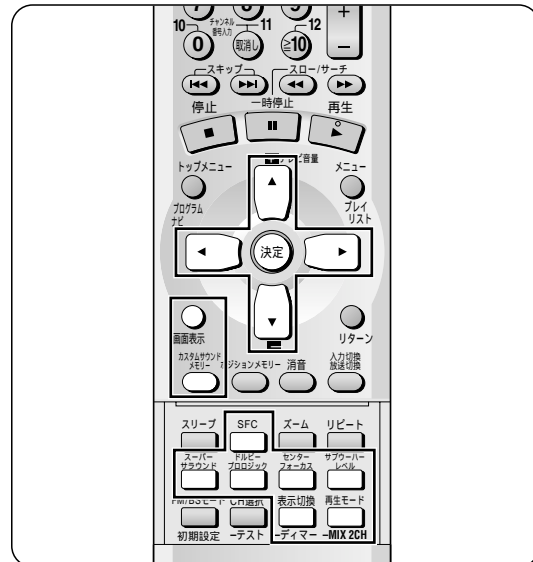
[FM/BSモード 初期設定] **押す**

押すたびに

MAIN/SUB → MAIN ONLY
↑　　　　　　↓
MIX　←　SUB ONLY

MAIN/SUB	：主音声と副音声を出力
MAIN ONLY	：主音声のみを出力
SUB ONLY	：副音声のみを出力
MIX	：主音声と副音声を合わせて、モノラルとして音声出力

さまざまな音場・音質効果を楽しむ

スピーカーでお楽しみください。
ヘッドホン接続時（⇨31ページ）はSFC、リマスターのみ効きます。

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2ch）はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

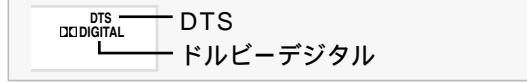
DTS（Digital Theater Systems）

多くの映画館で採用されているマルチチャンネルシステムです。情報量が多いので、リアルな音響効果が得られます。

ドルビープロロジック

4チャンネル信号を2チャンネルに記録し、演算処理により再び4チャンネルの独立した信号を再生するサラウンドシステムです。

ドルビーデジタル・DTS

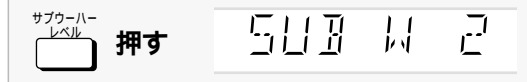
（ドルビーデジタル、DTSで記録されたディスク）
再生を始めると自動判別します。

- スピーカーの出力レベルを調整するには（⇨24ページ）

ドルビープロロジック

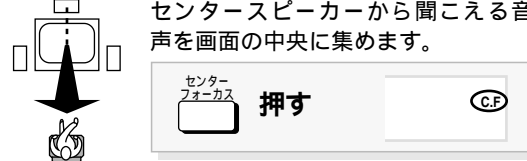
（ドルビーサラウンドで記録されたソース）
臨場感あるサラウンドサウンドが楽しめます。

解除するには、もう一度押す

- ドルビーデジタルで記録されたマルチチャンネル音声には働きません。
- スピーカーの出力レベルを調整するには（⇨24ページ）

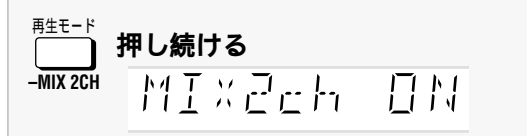
サブウーハーの低音を調整

押すたびに
SUB W 1 ⟶ SUB W 2
↑　　　　　　↓
SUB W 4（お買い上げ時）← SUB W 3

センターフォーカス

（センターチャンネルに音声が入っているソース）

押すたびに
CENTER FOCUS1 →CENTER FOCUS2
（標準）　　　　（効果大）
↑―― OFF（切）←――

- 2を選ぶと、小さい音量でも会話が聞きやすくなります。
- スーパーサラウンド（⇨23ページ）が「入」のときは、働きません。
- ドルビープロロジックが「入」のときは、効果が出ない場合があります。

音声を2 chに集約

ドルビーデジタルなどの5.1 chの音声を2 chに集約して、フロントスピーカーから出力します。

解除（OFF）するには、もう一度押し続ける

- スーパーサラウンド（⇨23ページ）やドルビープロロジックが「入」のときは、働きません。

■現在の状態を確認するには
[表示切換]を押す

■"D.MIX"が点滅したら
再生中のDVDオーディオがダウンミックスできないマルチチャンネルを記録しています。

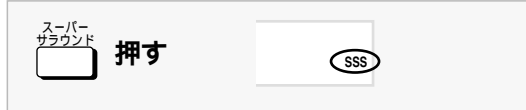
SFC（サウンドフィールドコントロール）

下記のようなさまざまな効果を楽しめます。

押すたびに
HEAVY ：ロックなど。パンチを効かせます。
CLEAR ：ジャズなど。高音部を鮮明にします。
SOFT ：BGMなど。ソフトな音にします。
DISCO ：ディスコのような長い残響音があります。
LIVE ：ボーカルにつやを出します。
HALL ：大ホールのような音の広がりを与えます。
FLAT（お買い上げ時）：SFC効果を使わない状態に戻ります。

■現在の効果を確認するには
[SFC]を押す

スーパーサラウンド

ステレオ音声にサラウンド効果をつけることができます。

押すたびに
MUSIC（音楽）→ MOVIE（映画）→OFF（切）

- "MUSIC"または"MOVIE"のとき"MIX2ch"の切り換えはできません。
- ドルビープロロジック（⇨22ページ）は、強制的に「切」になります。

お好みの設定を記憶させる（カスタムサウンドメモリー）

DVD-A DVD-V VCD CD

ディスクごとにお好みの設定を記憶させ、次回ディスクを再生したときに、自動的に設定を呼び出します。
記憶できるディスク数：30枚
記憶できる設定　　　：ドルビープロロジック
　　　　　　　　　　：サブウーハーレベル
　　　　　　　　　　：センターフォーカス
　　　　　　　　　　：SFC
　　　　　　　　　　：スーパーサラウンド

■記憶させる

お好みの設定を行う

■呼び出す

記憶させたディスクを入れて再生すると、自動的に呼び出します。

- 設定を記憶しなおすと、新しい設定が上書きされます。
- "CSM"点灯中、[カスタムサウンドメモリー]を押すと、"CSM"は消灯し記憶させる前の設定に戻ります。
- "CSM"消灯中、[カスタムサウンドメモリー]を押すと"CSM"は点灯し、設定を記憶させたディスクでは、設定を呼び出します。
- 31枚をこえると、古いものから順に消されます。

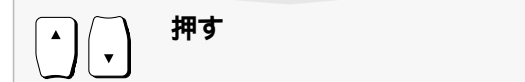
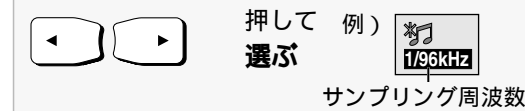
より自然な音質で聞く（リマスター）

RAM DVD-A DVD-V CD

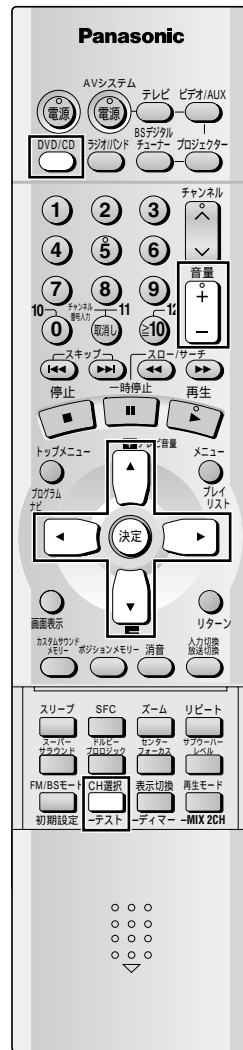
LPCM 2ch　44.1 kHzまたは48 kHzで記録されたディスク
ディスクに記録されていない高い周波数信号を付け加えることで、より自然で豊かな音質を楽しめます。

WMA MP3

44.1 kHzまたは48 kHzで記録されたディスク
圧縮時に失われた周波数信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

画面表示　再生中、数回押して
本機情報画面「音声設定」を出す
（⇨27ページ）

設定が下記のように切り換わります。

設定	RAM DVD-A DVD-V CD 音源に適した設定を選択	WMA MP3 効果の強弱を選択
1	テンポの早い曲（ポップス、ロックなど）	弱
2	さまざまなテンポの曲（ジャズなど）	中
3	テンポの遅い曲（クラシックなど）	強
切	切	切

スピーカーの出力レベル調整

実際にソフトを再生してみて、各スピーカーのレベルにばらつきがあると感じるときは、視聴する位置に座った状態で、各スピーカーからの出力が同じ音量になるように調整してください。
(ドルビーデジタル、DTS、AAC、ドルビープロロジック)

操作の前に！

- [DVD/CD]を押す
- スーパーサラウンド：切（➪ 23ページ）

CH選択 –テスト **押し続ける**
テスト信号が出力されます。

→ L(−16〜0)：フロント左
↓
C(−10〜+6)：センター
↓
R(−16〜0)：フロント右
↓
RS(−10〜+6)：サラウンド右
↓
LS(−10〜+6)：サラウンド左

- SW（サブウーハー）からは出力されません。

押して
通常聞く音量にする

押して
各スピーカーの出力レベルが同じになるように調整する

CH選択 –テスト **押し続ける**
テスト信号が止まります。

■ 再生中に各スピーカーを個々で調整する

1 [CH 選択] を押してスピーカーを選ぶ

L ⟶ C ⟶ R
↑ ↓
SW* ←LS← RS
*SW(−10〜+10)：サブウーハー

2 [音量 +、−] を押して調整する

サブウーハーへの信号が記録されていないソースは、サブウーハーのレベル調整はできません。

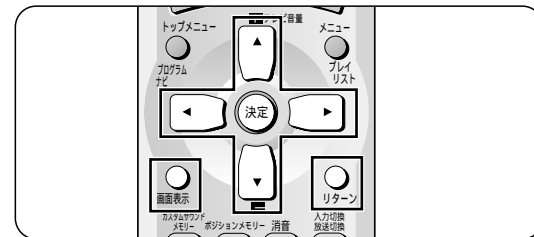
スーパーサラウンド「入」時、サラウンドスピーカーのレベルを調節する

操作の前に！

スーパーサラウンド：入（➪ 23ページ）

1 [CH 選択] を押す

2 [音量 +、−] を押して調整する(−10〜+6)

絵表示（GUI画面）を使って操作する

ジー・ユー・アイ　グラフィカル ユーザー インターフェース
G U I（Graphical User Interface）とは「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合はこの画面を「GUI画面」と呼びます。

画面表示 押して
変更したい画面表示を出す
押すたびに「ディスク情報」→「プログレスインジケーター」→「本機情報」→元の画面の順に切り換わります。

「本機情報」のときのみ、左端のアイコンが選ばれた状態で、押して
変更したい画面表示を出す

押して
操作したい項目を選ぶ

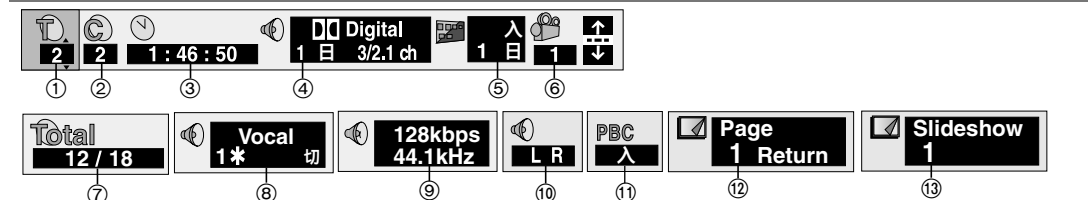
押して
お好みの設定を選ぶ
数字ボタン→[決定]で変更できるものもあります。

■ GUI画面の位置を移動させるには

[◀、▶] で一番右のアイコンを選び、
[▲、▼] で切り換える（5段階）

■ 画面表示を消すには

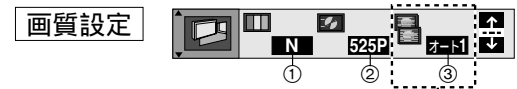
GUI画面が消えるまで、[リターン]を押す

ディスク情報

番号	内容	操作
①	PG：プログラム番号 RAM PL：プレイリスト番号 RAM G：グループ番号 DVD-A WMA MP3 T： タイトル番号 DVD-V トラック番号 VCD CD	[▲,▼] ↓ [決定]
②	T： グループ内のトラック番号 DVD-A WMA MP3 C：チャプター番号 DVD-V	
③	時間指定再生 RAM DVD-A DVD-V 例）1時間46分50秒から再生 [1]→[4]→[6]→[5]→[0]→[決定]	数字ボタン ↓ [決定]
	時間表示 RAM DVD-A DVD-V VCD CD (WMA MP3 は経過時間のみ) →番組／プレイリスト／タイトル／トラックの経過時間 ↓↑ グループ（DVD-A）／ディスク(VCD CD)の残り時間 ↓↑ →番組／プレイリスト／タイトル／トラックの残り時間	[▲、▼]
④	音声番号 RAM DVD-A DVD-V (➪ 16ページ)	

番号	内容	操作
⑤	字幕番号 DVD-A DVD-V (➪16ページ) 字幕「入」「切」RAM DVD-A DVD-V トラック情報「入」「切」 WMA MP3 CD (テキスト)	[▲,▼]
⑥	アングル番号 DVD-A DVD-V	
⑦	トータルトラック番号 WMA MP3 再生・選択中のトラック番号／ディスク内の総トラック数	[▲,▼] ↓ [決定]
⑧	カラオケボーカル「入」「切」 DVD-V （カラオケDVDのみ） デュエットディスクの場合、「V1」または「V2」を選ぶと、ひとりでもデュエットできます。	[▲,▼]
⑨	現在のビットレート（kbps） 現在のサンプリング周波数（kHz） WMA MP3	変更不可
⑩	音声モード RAM VCD	[▲,▼]
⑪	メニュー再生の「入」「切」状態表示 VCD （PBC付VCDのみ）	変更不可
⑫	Page：静止画番号 DVD-A 番号を選ぶとその画像で再生 ● Page 1に戻る： [◀、▶]→ “ Return ” を選ぶ→[決定]	[▲,▼]
⑬	Slideshow：スライドショー DVD-A 静止画が自動的に切り換わる	変更不可

本機情報

画質設定

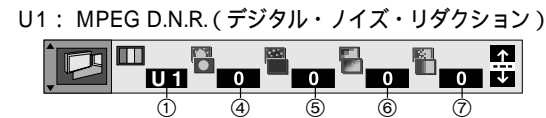
RAM DVD-A DVD-V VCD

番号	内容	操作
①	**画質モード** **N**：通常 **S**：ソフト（ざらつきの少ない柔らかな画質） **F**：ファイン（輪郭の強調されたくっきりした画質） **C1**：シネマ1（映画館で見ているようなしっとり感） **C2**：シネマ2（昔の映画などをくっきり） **U1/U2/U3**：ユーザー画質(⇨右記) 各種調節ができます。	[▲、▼]
②	**ビデオ出力モード** ● 525I：インターレース映像 ● 525P：プログレッシブ映像 （“ PROG. ” 表示点灯）	

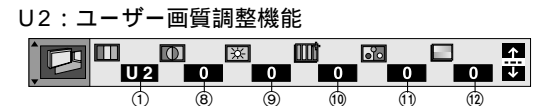
表示窓の “ PROG. ” 点灯中のみ

番号	内容	操作
③	**変換モード** プログレッシブ出力に変換する方式を素材に応じて使い分ける ● **オート1(標準):** 映画再生 ● **オート2**：オート1の変換方法に加え、30コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応 ● **ビデオ:** ビデオ素材	[▲、▼]

ユーザー画質モードを変更する

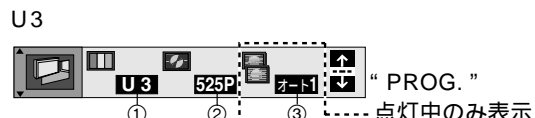
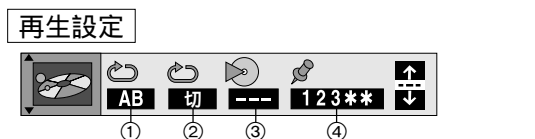
1 [▶]で数字をハイライトさせる
2 [▲、▼]で “ 1 ” ～ “ 3 ” を選ぶ

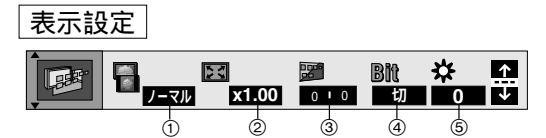
U1：MPEG D.N.R.（デジタル・ノイズ・リダクション）

番号	内容	操作
④	**スペースNR**(0 ～ +4) 主に背景部分に現れるノイズを除去	[▲、▼]
⑤	**3次元NR**（0 ～ +4）/**ドットNR**（ON） 画面全体のノイズを除去／色と色の境界にみられるドット状のノイズを軽減	
⑥	**ブロック NR**（0 ～ +3） 動画にみられるモザイク状のノイズを除去	
⑦	**モスキート NR**（0 ～ +3） 周囲とのコントラストがはっきりした部分に見える、もやのようなノイズを除去	

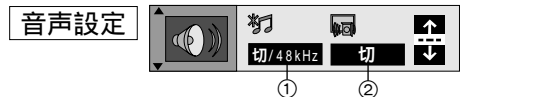
U2：ユーザー画質調整機能

番号	内容	操作
⑧	**コントラスト**（−7～ +7） 白黒の強弱	[▲、▼]
⑨	**明るさ**（0～ +15） 画面全体の明るさ	
⑩	**シャープネス**（−7～ +7） 水平方向の鮮鋭度（解像感）	
⑪	**カラー**（−7～ +7） 色の濃さ	
⑫	**ガンマ**（0～ +5） 暗い部分の明るさ	

U3

①～③：⇨左記

再生設定

番号	内容	操作
①	**A-Bリピート**（⇨14ページ） RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3	[決定]
②	**リピートモード**（⇨14ページ） RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3	[▲、▼]
③	**再生モード** DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3 - - -：通常　PGM：プログラム RND：ランダム ALL：オールグループ(DVD-A)	変更不可
④	**マーカー** RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3	17ページ

表示設定

番号	内容	操作
①	**4：3 アスペクト** RAM DVD-A DVD-V VCD 16：9プログレッシブテレビへの4：3映像の表示のしかたを選ぶ。 ● **ノーマル：** テレビの画面幅いっぱいに引き延ばす ● **オート：** 通常は “ シュリンク ” に、レターボックスの映像は “ ズーム ” に、自動的に切り換える ● **シュリンク：** テレビ画面中央に4：3の画面比のまま映す ● **ズーム：** “ ノーマル ” の映像を縦に引き延ばす	[▲、▼]
②	**ズーム**（⇨17ページ） RAM DVD-A DVD-V VCD	[決定] ↓ [◀、▶] ↓ [決定]
	ズーム倍率を微調節する	[▲、▼]
③	**字幕位置移動/明るさ** DVD-A DVD-V 字幕移動（0～ − 60）：2段階ずつ調節 字幕明るさ（オート※／0～ − 9） ※画面の明るさに応じて自動的に調節	[▲、▼]
④	**ビットレート表示「入」「切」** RAM DVD-A DVD-V VCD 映像の種類（I/P/B ⇨40ページ）とビットレートを表示する（値は目安です）	[▲、▼]
	ビットレート表示を切り換える 9.438 Mbps 動画再生時：再生画像の平均ビットレート 静止時：映像の種類とフレームのデータ量 ・ビットレート Cur. 7.507 Mbps Ave. 6.730 Mbps 5.0 Mbps 現在のビットレート／サンプリング期間中のビットレート履歴／平均ビットレート	[◀、▶]
⑤	**OSD明るさ**（−3～ +3） 画面表示の明るさを調節する。	[▲、▼]

音声設定

番号	内容	操作
①	**リマスター**（⇨23ページ） RAM DVD-A DVD-V CD WMA MP3	[▲、▼]
②	**ダイアログエンハンサー「入」「切」** DVD-V （センターチャンネルにセリフが入っているディスク） 映画のセリフを聞き取りやすくします	[▲、▼]

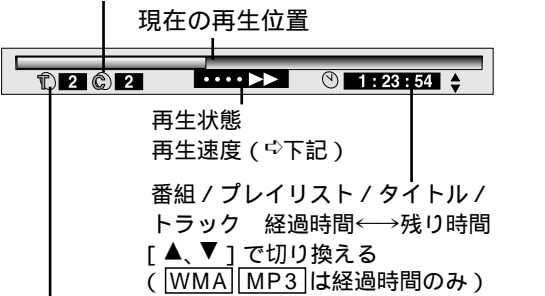
プログレスインジケーター

番組／プレイリスト／タイトル／トラック内で、現在どの部分を再生しているかを表します。再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

C（チャプター番号） DVD-V
T（グループ内のトラック番号） DVD-A WMA MP3

現在の再生位置

2　2　••••▶▶　1：23：54

再生状態
再生速度（⇨下記）
番組／プレイリスト／タイトル／トラック　経過時間⟷残り時間
[▲、▼] で切り換える
（WMA MP3 は経過時間のみ）

PG（プログラム番号） RAM
PL（プレイリスト番号） RAM
T（タイトル番号） DVD-V
T（トラック番号） VCD CD
G（グループ番号） DVD-A WMA MP3

再生速度を微調節する

DVD-V （ドルビーデジタルのディスク）

セリフなどを聞きながら速く再生したり、遅く再生してしっかり聞き取りたいときに使います。

再生中

[◀、▶]を押す

×1.2 ▶

速度表示の色が変わり、速度変換モードになります。
×0.8 ↔ ×0.9 ↔ ×1.0↔×1.2 ↔ ×1.4

● 以下のとき、通常再生に戻ります。
　ー[▶]（再生）を押す
　ー速度変換モードが “ ×1.0 ” のときにプログレスインジケーター表示を消す
● 速度変換モード中は、2チャンネル出力になります。
● ディスクによっては働かない箇所があります。

初期設定を変える

日本語 のようにアミがかかった項目は、お買い上げ時の設定です。

設定を変更したいときは、30ページの操作を行ってください。設定は、電源を切っても次に変更するまで保持されます。

ディスク

■ 音声言語
言語（音声）が選べます。
日本語／英語／オリジナル※1**／その他＊＊＊＊**※2

■ 字幕言語
言語（字幕）が選べます。
オート※3**／日本語／英語／その他＊＊＊＊**※2

■ メニュー言語
メニューなど、テレビ画面に表示される言語が選べます。
日本語／英語／その他＊＊＊＊※2

■ 視聴制限
お子さまなどに見せたくないDVDの視聴が制限できます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。
- **レベル8**　：すべてのディスクが再生可
- **レベル7〜1**：制限レベルの記録されているディスクが再生不可
- **レベル0**　：すべてのディスクが再生不可

0から7を選ぶ、または選んだあと再び“視聴制限”を選ぶと、暗証番号の入力画面が表示されます。（⇨29ページ）

※1 “オリジナル”：ディスクの最優先言語が選ばれます。
※2 “その他＊＊＊＊”：数字ボタンで言語番号（⇨30ページ）を入力します。
※3 “オート”：“音声言語”で選んだ言語が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

映像

■ TVアスペクト
テレビサイズに合った画面表示方法が選べます。
- **4：3 パン&スキャン**
- **4：3 レターボックス**
- **16：9**

■ 接続するTV
接続したテレビの種類に合わせて設定
- **標準(ブラウン管テレビ)**
- **3管式プロジェクター**
- **液晶テレビ／プロジェクター**
- **プロジェクションテレビ**
- **プラズマテレビ**

■ スチルモード
一時停止時の画像表示方法が選べます。
- **オート**　● **フィールド**　● **フレーム**

フレームとフィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム　　フィールド　　フィールド

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

音声

■ スピーカー設定
ディレイタイム（⇨29ページ）を調整することで、理想的な音空間を創ります。
- **マルチチャンネル**

■ 音声のダイナミックレンジ圧縮
（ドルビーデジタルのみ）
小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
- **切**　● **入**

■ 早送り時の音声
早送り時、音声あり／なしが選べます。
- **あり**　● **なし**

DVD-A 「なし」にしても音声が聞こえるものがあります。

画面表示

■ 画面メニュー言語
初期設定画面の言語や、操作時、テレビ画面に表示される言語が選べます。
- **日本語**　● **English（英語）**

■ 画面メッセージ
操作時の表示をテレビ画面に表示する／しないが選べます。
- **入**　● **切**

その他

■ DVDビデオモード
(DVDビデオとして再生できるDVDオーディオディスク)
DVDオーディオに収録された映像の再生方法が選べます。
（電源を切る、トレイを開ける、またはソースを切り換えると、「しない」に戻ります。）
- **しない**：ディスクをDVDオーディオとして再生
- **する**：ディスクをDVDビデオとして再生

■ クイックセットアップ
本機の基本的な設定を、画面上での対話形式によって行えます。
- **する**　● **しない**

暗証番号の入力方法

1 数字ボタンで4ケタの数字を入力する
- [取消し]を押すと、数字を取り消すことができます。

2 [決定]を押す
3 暗証番号を確認し、[決定]を押す
暗証番号は忘れないでください。

視聴制限を超えるDVDを入れると、画面上に表示が出ます。そのときは画面の指示に従ってください。

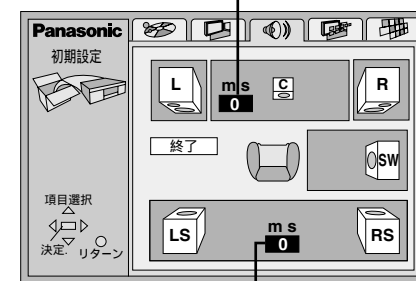
ディレイタイムの調整

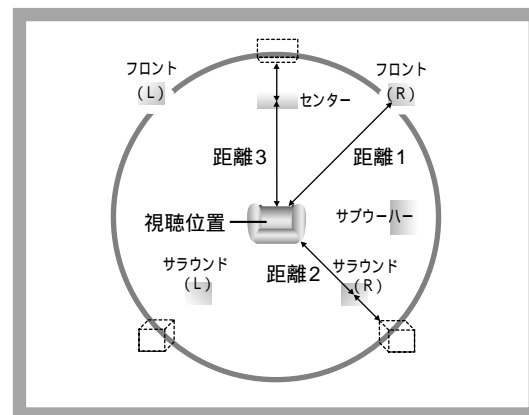
マルチチャンネルで記録されたディスク

5.1ch音声を楽しむには、すべてのスピーカー（サブウーハーは除く）を右記のように円上に置くのが理想的です。置けない場合は、ディレイタイムの設定をすると音声出力に遅延効果を与え、仮想的に理想の視聴位置を実現します。

操作の前に！
“スピーカー設定”を選び、[決定]を押す

1 [▲、▼]を押して 項目を選び、[決定]を押す

センターのディレイタイム

サラウンドのディレイタイム

2 [▲、▼] で数値を変更し、[決定]を押す
3 変更が終わったら、[◀]で“終了”を選び、[決定]を押す

センターのディレイタイム

距離 1≦ 距離3：0 ms
距離 1> 距離3：下記の設定

距離の差	設定値
約 50 cm のとき	1.3 ms
約 100 cm のとき	2.6 ms
約 150 cm のとき	3.9 ms
約 200 cm のとき	5.3 ms

サラウンドのディレイタイム

距離 1≦ 距離2：0 ms
距離 1> 距離2：下記の設定

距離の差	設定値
約 200 cm のとき	5.3 ms
約 400 cm のとき	10.6 ms
約 600 cm のとき	15.9 ms

初期設定を変える（つづき）

押して
内容を選び[決定]を押す

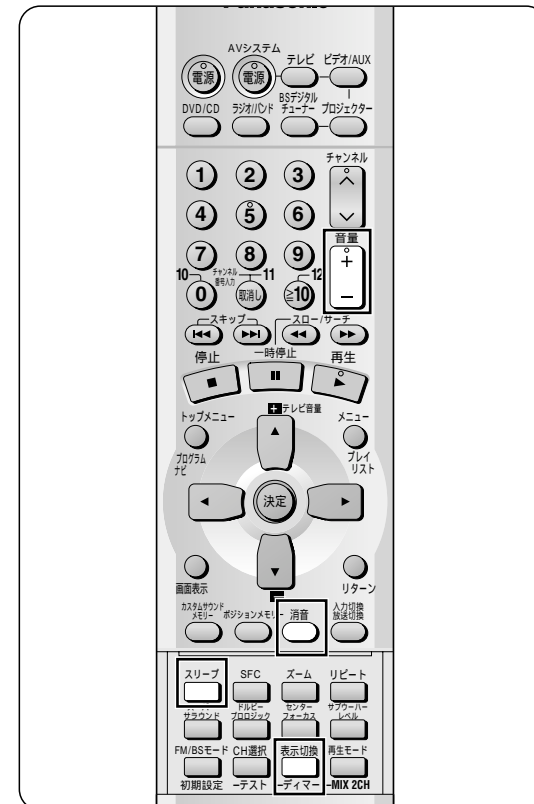
決定

言語番号一覧表

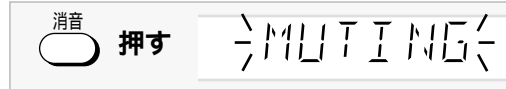
言語	番号
アイスランド	：7383
アイマラ	：6588
アイルランド	：7165
アゼルバイジャン	：6590
アッサム	：6583
アファル	：6565
アフリカーンス	：6570
アプハジア	：6566
アムハラ	：6577
アラビア	：6582
アルバニア	：8381
アルメニア	：7289
イタリア	：7384
イディッシュ	：7473
インターリングア	：7365
インドネシア	：7378
ウェールズ	：6789
ウォロフ	：8779
ヴォラピュック	：8679
ウクライナ	：8575
ウズベク	：8590
ウルドゥー	：8582
英語	：6978
エストニア	：6984
エスペラント	：6979
オーリヤ	：7982
オランダ	：7876
カザフ	：7575
カシミール	：7583
カタロニア	：6765
ガリチア	：7176
韓国（朝鮮）語	：7579
カンナダ	：7578
カンボジア	：7577
キルギス	：7589
ギリシャ	：6976
クルド	：7585
クロアチア	：7282
グアラニー	：7178
グジャラト	：7185
グリーンランド	：7576
グルジア	：7565
ケチュア	：8185
ゲール（スコットランド）	：7168
コーサ	：8872
コルシカ	：6779
サモア	：8377
サンスクリット	：8365
ショナ	：8378
シンド	：8368
シンハラ	：8373
ジャワ	：7487
スウェーデン	：8386
スロバキア	：8375
スロベニア	：8376
スワヒリ	：8387
スンダ	：8385
スペイン	：6983
ズールー	：9085
セルビア	：8382
セルボクロアチア	：8372
ソマリ	：8379
タイ	：8472
タタール	：8484
タミル	：8465
タガログ	：8476
タジク	：8471
チェコ	：6783
中国語	：9072
チベット	：6679
ティグリニア	：8473
テルグ	：8469
デンマーク	：6865
トウイ	：8487
トルクメン	：8475
トルコ	：8482
トンガ	：8479
ドイツ	：6869
ナウル	：7865
日本語	：7465
ネパール	：7869
ノルウェー	：7879
ハウサ	：7265
ハンガリー	：7285
バシキール	：6665
バスク	：6985
パシュト	：8083
パンジャブ	：8065
ヒンディー	：7273
ビハール	：6672
ビルマ	：7789
フィジー	：7074
フィンランド	：7073
フェロー	：7079
フランス	：7082
フリジア	：7089
ブータン	：6890
ブルガリア	：6671
ブルターニュ	：6682
ヘブライ	：7387
ベトナム	：8673
ベロルシア（白ロシア）	：6669
ベンガル（バングラ）	：6678
ペルシャ	：7065
ポーランド	：8076
ポルトガル	：8084
マオリ	：7773
マケドニア	：7775
マライ（マレー）	：7783
マラッタ	：7782
マラヤーラム	：7776
マルタ	：7784
マダガスカル	：7771
モルダビア	：7779
モンゴル	：7778
ヨルバ	：8979
ラオ	：7679
ラテン	：7665
ラトビア（レット）	：7686
リトアニア	：7684
リンガラ	：7678
ルーマニア	：8279
レトロマンス	：8277
ロシア	：8285

■ ひとつ前の画面に戻るには
[リターン]を押す

■ 設定を終了するには
[初期設定]を押す

便利な機能

一時的に音を消す（消音）

電話がかかってきたときなどに便利です。

消音 **押す** MUTING

解除するには
- もう一度押す
- [音量]を押して“ -- dB ”にした後、音量を上げる
- 電源を「切」「入」する

指定した時間に電源を切る（スリープ）

スリープ **押す** SLEEP

押すたびに
SLEEP 30 →60 →90 →120 →OFF

（単位：分）
解除するには、［スリープ］を押して“ SLEEP OFF ”を選ぶ。

■残り時間を確かめるには
［スリープ］を1回押す。

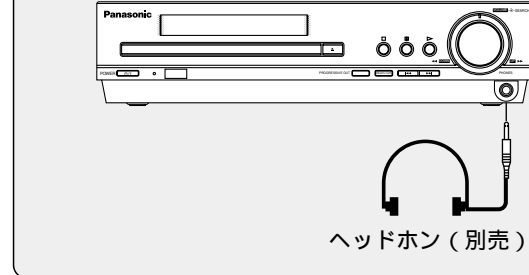
表示窓の表示を暗くする（ディマー）

映画を見るときなどに便利です。

押し続ける

解除するには、
- もう一度押し続ける
- 電源を「切」「入」する

ヘッドホンを使う

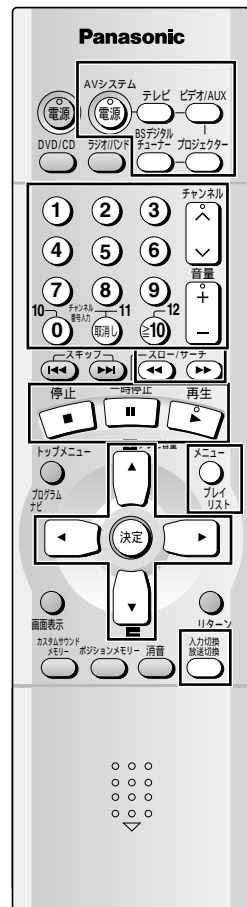
まず音量を下げる！

プラグインタイプ：ステレオミニ（M3）
推奨品：RP-HT530
　　　　RP-HT242（ともに別売）

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください
- 接続すると
  - 一強制的に2chになります。
  - ードルビープロロジック／サブウーハーレベル／スーパーサラウンド／センターフォーカスの各効果は働きません。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

テレビ、ビデオ、BSデジタルチューナー、液晶プロジェクターを操作する

本機のリモコンを使って、さまざまな当社製の機器の基本操作ができます。（一部の機種では操作できないものもあります。）

テレビを操作する

以下のことができます。
- 電源「入」「切」
- ビデオ入力切換え
- チャンネル切換え
- 音量調整

操作の前に！

本体に向け、[テレビ]を押す。
下記の操作は、テレビに向けて行う。

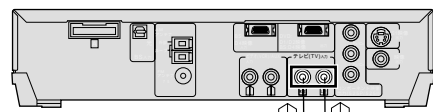
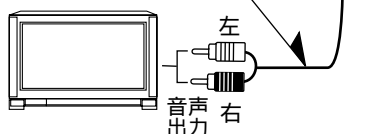
電源の「入」「切」

ビデオ入力切換え

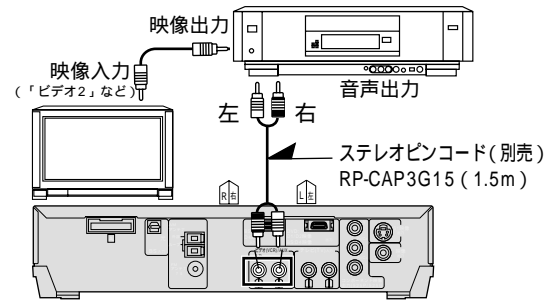
チャンネル切換え

- 数字ボタンでも選べます。

音量調整

テレビの音声を本体のスピーカーで楽しむ

音量の調整

テレビ側の音量を最小にすることをおすすめします。

ビデオデッキを操作する

以下のことができます。
- 電源「入」「切」
- 再生、停止、一時停止
- 早送り、早戻し

操作の前に！

本体に向け、[ビデオ/AUX]を押す。
接続に応じてビデオ入力を切り換える。
下記の操作は、ビデオデッキに向けて行う。

電源の「入」「切」

早送り、早戻し

再生、停止、一時停止

- ビデオ内蔵型テレビでは、リモコンが働かない場合があります。

BSデジタルハイビジョンチューナーを操作する

TU-BHD300 TU-BHD250 TU-BHD200

接続は別冊の設置接続編とBSデジタルハイビジョンチューナーの説明書をお読みください。

以下のことができます。
- 電源「入」「切」
- 放送切換え
- チャンネル切換え

操作の前に！

本体に向け、[BSデジタルチューナー]を押す。
下記の操作は、BSデジタルチューナーに向けて行う。

電源の「入」「切」

チャンネル切換え

放送（BSとCS）切り換え

- BSデジタルチューナー内蔵テレビやCSデジタルチューナーなど、本機のリモコンで操作できないものもあります。

液晶プロジェクターを操作する

TH-AE300 TH-AE200 TH-AE100

接続は別冊の設置接続編と液晶プロジェクターの説明書をお読みください。

以下のことができます。
- 電源「入」「切」
- 入力切換え
- メニュー選択

操作の前に！

本体に向け、[プロジェクター]を押す。
下記の操作は、液晶プロジェクターに向けて行う。

電源の「入」「切」

ビデオ入力切換え

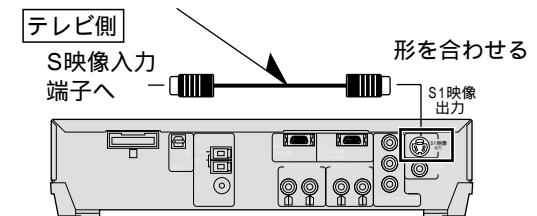
メニュー選択

押して
[▲、▼、◀、▶]で項目を選び
[決定]を押す

より良い映像を楽しむ

テレビと下記の接続をすると、付属の映像ケーブルと接続するよりも良い映像を楽しむことができます。

S映像入力端子と接続

S映像コード（別売：RP-CVS0G10、1mなど）

プログレッシブ対応テレビと接続するときは

本機のコンポーネント映像出力端子とD映像出力端子は、プログレッシブ映像出力に対応しています。
プログレッシブ対応テレビには、どちらかの接続をしてください。

お知らせ

プログレッシブ映像に対応していないテレビでは、本機のプログレッシブ映像は楽しめません。

D映像入力端子と接続

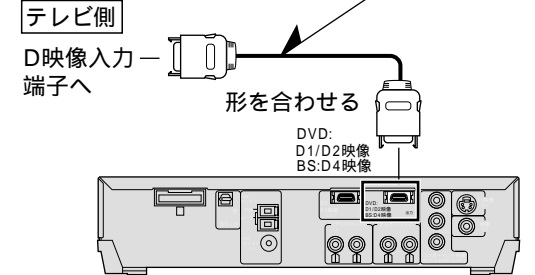
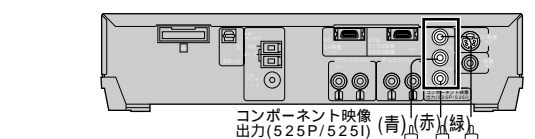
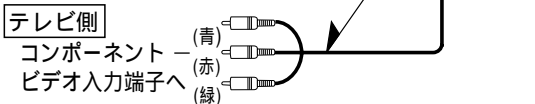
D端子ケーブル（別売：RP-CVDG15、1.5mなど）

コンポーネントビデオ入力端子と接続

お願い

- 接続した端子に合わせて、テレビ側で入力を切り換えてください。

画面が乱れたり、映らないことがありますので、以下の端子には接続しないでください。

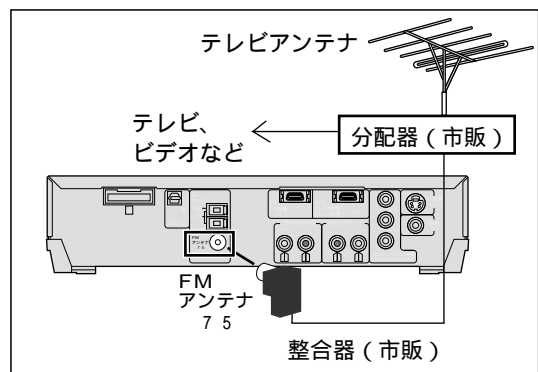
- DVDに対応していないハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子
- DVDのマクロビジョン社のコピーガードシステムに対応していないAVセレクターのビデオ入力端子
- ビデオテープレコーダーのビデオ入力端子
- ビデオ内蔵型テレビのビデオ入力端子

お知らせ

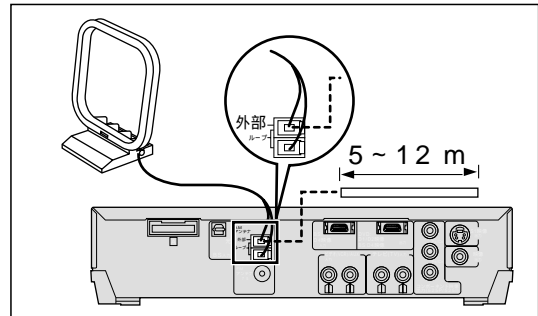
BSデジタルチューナーからの映像を楽しむには、D端子ケーブルまたはコンポーネントビデオケーブルの接続が必要です。

屋外アンテナを接続

山間部や鉄筋コンクリート建のビルの中など電波を受信しにくい場合は、屋外アンテナを接続してください。

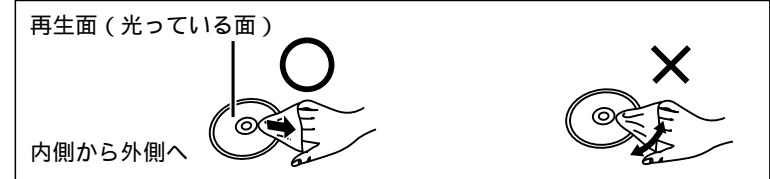
FM（テレビアンテナの利用）

アンテナ線（同軸ケーブル）を整合器（市販）に取り付けて、後面に接続します。付属の FM 簡易型アンテナははずしてください。

AM（市販のビニール線の利用）

窓際などに、ビニール線を水平に取り付けます。
付属の AM ループアンテナも同時に接続しておきます。

ディスクの扱い

■汚れたときは

DVDオーディオ、DVDビデオ、CD、ビデオCD

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。
推奨品: クリーニングクロス（品番：VUA7091）（サービスルート扱い）

DVD-RAM、DVD-R

- 必ず専用のDVD-RAM/PDディスククリーナーLF-K200DCJ1（別売）、RFKZ0093（サービスルート扱い）でふいてください。使いかたについては、ディスククリーナーの説明書をよくお読みください。
- 布やCD用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

■露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。DVD-RAM、DVD-Rは、専用のクリーナー（上記）でふいてください。

■ 取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 再生面には手を触れない。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- 紙やシール、ラベルを貼らない。
- ラベル面をプリンターで印刷できるタイプのディスクを使う場合は、当社製のものをお使いください。(当社製以外のディスクを使うと、機器の故障の原因になることがあります。)
- ハート型など、特殊形状のディスクは使わない。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない。

■ 保管

次のような場所に置かないでください

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

プログレッシブ対応テレビ一覧

テレビタイプ	品番 (TH-)				
BSデジタル ハイビジョン	36DH200 36D10 28D30	36DH100 32D100 28D20	36D100 32D30 28D10	36D30 32D20	36D20 32D10
ハイビジョン	36FH10 32HG1	36FH1 28HW3	36HG1 28HW2	32FH10	32FH1
プログレッシブ ワイド	36FP50 36FP15 32FP15 28FP25	36FP30 32FP50 32FP10 28FP20	36FP25 32FP30 32FS10 28FP15	36FP10 32FP25 28FP50 28FS10	36FP20 32FP20 28FP30
プログレッシブ	33FP2	29FP5	29FP3	29FP2	
DVDビデオ内蔵 ワイド液晶	15DT2	15DTX1	15LV1		
ワイド液晶	22LT1	15LT1			
4:3液晶	14TA3	20TA3	17TA3		
プラズマ ディスプレイ	50PXS10 42PD2 42PM50 42PAS10	42PXS10 37PD10 42PM30 37PAS10	42PX10 37PD2 42PM20	50PH50 42PM2 37PM50	50PHD3 37PM2 37PM20
リア プロジェクター	48FH10	47FP10			
液晶 プロジェクター	AE300	AE200	AE100		

(2002年9月現在／当社製テレビのみ)
他社の対応テレビについては、該当メーカーに、「DVDプログレッシブ出力のコピーガードシステム（マクロビジョン方式）に対応している525P映像入力端子が付いているか」をご確認ください。

お手入れ

本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

お知らせ

- 使用環境により異なりますが、レンズをクリーニングする必要はありません。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

Q＆A（よくあるご質問）

	質問	回答
他機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	フォノイコライザー内蔵のプレーヤーであれば、つなげます。後面のビデオ（VCR）/AUX端子に接続します。**推奨品：当社製アナログプレーヤー　SL-J8（フォノイコライザー内蔵）** お手持ちのプレーヤーがフォノイコライザー内蔵でないときは、フォノイコライザー（サービスルート扱い：品番RFKZ0088KIT）が必要です。そのままつなぐと音が小さくなります。
	有線放送をつなぎたい	後面のビデオ（VCR）/AUX端子に接続します。
	他にスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属のスピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど正しい特性の音が得られません。
操作	BS/CS チューナーを接続したが、音が小さい	BS/CSチューナーの音量は他のソースより小さくなる傾向があります。
	海外で購入した DVD などのビデオディスクを再生したい	リージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでいて、映像方式がNTSCであれば再生できます。ディスクのジャケットをご覧ください。
	リージョン番号がないディスクは再生できるか	DVDのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていないDVDは再生できません。
	ビデオデッキに録画できるか	ほとんどのDVDは、コピー禁止処理がされており、録画できません。
	CD-Gは再生できるか	再生できません。
	ハイビジョンテレビに接続できるのか	接続できます。より良い映像のために、テレビ側は、DVD対応のコンポーネントビデオ端子またはD映像端子に接続することをおすすめします。ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ端子には接続しないでください。
	S映像端子、コンポーネントビデオ端子、D映像端子すべてがあるテレビの場合、どれに接続したらいいのか	コンポーネントビデオ端子またはD映像端子に接続すると、DVDに記録されたままの状態で本機から信号を出力するため、S映像端子に接続する場合より、さらに忠実に色を再現します。
その他	海外でも使えるか	本機は日本国内専用です。海外では電源電圧などが異なるため使用できません。
	引っ越しても使えるか	東日本、西日本に関係なく使えます。

困ったときは

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
操作	電源が入らない	システムケーブルが外れていませんか。	設置接続編
	音がでない	消音になっていませんか。	31
		スピーカーが正しく接続されていますか。	設置接続編
	音の位置が定まらない、左右逆になる	スピーカーコードが正しく接続されていますか。	設置接続編
	演奏中に「ブーン」という低い音が出る	電気器具の電源コードや蛍光灯がサブウーハーの近くにある場合は離してください。	—
	演奏中に音が出なくなった	スピーカーコードがショートしていませんか。 いったん電源を切り、接続を確認してから電源を入れてください。	—
	表示窓が暗い	リモコンの[ーディマー]を押し続けてください。	31
	各ボタン操作ができない	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	—
		落雷や静電気などの影響により、正常に動作しない場合があります。電源を一度、「切」「入」してください。	—
	リモコンが働かない	乾電池は＋－を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものに交換してください。	6
		リモコン受信部に向けて正しく操作してください。	6
	[▶]（再生）を押しても、再生が始まらない（またはすぐに停止する）	寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1～2時間放置してください。	—
		本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	7
		ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。	35
		ディスクを正しく置いてください。	11
		記録済みのディスクが入っていますか。	—
		初期設定「視聴制限」の設定を確認してください。	28

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
操作	音声/字幕言語が切り換えられない	複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません。	−
	字幕がでない	字幕の入っていないディスクでは、字幕が表示されません。	−
		字幕が「切」になっている場合は、「入」にしてください。	16
		A-Bリピート再生のA点、B点やマーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。	−
	アングルを変えて見ることができない	複数のアングルが記録されている場面でのみ切り換えることができます。	−
	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた 初期設定をお買い上げ時の状態に戻したい	以下の操作で初期設定の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。 **1** ソースが“ DVD/CD ”で、停止中に本体の[■]を押しながらリモコンの[≧10]を押す（テレビ画面に“ オールクリア ”表示がでて、お買い上げ時の状態に戻ると消えます。） **2** 電源を「切」「入」する	−
	タイトルが__（アンダーバー）と表示される	表示可能な漢字は、JIS第一水準のみです。それ以外は、“ __ ”と表示されます。	−
	マーカーが付けられない	プレイリスト再生中や再生経過時間が表示されない場合は、付けられません。	−
	再生が始まるのに時間がかかる	ディスクによっては、映像や音声が出るまでに時間がかかることがありますが、本機の故障ではありません。	−
	DVD-RAMでマーカーがはじめから付いている	DVDビデオレコーダーなどで付けたマーカーは表示されます。取消すことはできますが、電源を切る、ソースを切り換える、またはトレイを開けると、再び表示します。	−
	ランダム再生やプログラム再生ができない	ランダム／プログラム再生できないDVDビデオもあります。	−
	8階層より深いWMA／MP3のフォルダを正確に表示しない	8階層より深い階層にあるフォルダは8階層目と同じ列に表示されます。	−
	本機のリモコンでテレビの電源が入らない	リモコン操作モードが違っていることが考えられます。[テレビ]を押してから操作してください。	−
	字幕の位置がおかしい	GUI 画面「表示設定」の“ 字幕位置移動 ”で字幕位置を調節してください。	27
	DVD-RAMでマーカの付けた番号と呼び出す番号が異なる	マーカー番号は、ディスクの時間経過順に並べかえられます。追加や取り消しを行うと付けたときと異なることがあります。	−

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
映像	早送り/早戻しをしたら画像が乱れる	多少乱れることがありますが、故障ではありません。	−
	テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	接続を確認してください	設置接続編
		テレビの電源は入っていますか。またはテレビの入力切り換えは正しいですか。	−
		初期設定「TVアスペクト」は正しく設定されていますか	10
		テレビ側の画面モードを変更してください。	−
		ズーム機能で調節してください。	17
		GUIの表示設定“ 4:3アスペクト ”で表示サイズを調整してください。 ただし、PAL方式のDVDオーディオでは働きません。	27
		PAL方式のDVDオーディオは、縮小して表示されます。また、上下に引き延ばされた画面になることがあります。	−
	プログレッシブ出力（525P）時、映像の一部が二重にぶれて見える	[PROGRESSIVE OUT]を押して“ PROG. ”表示を消してください。映像ソフトそのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース（525I）では問題なく再生できます。	11
	画質がよくない または色がおかしい	GUI画面「画質設定」で画質を調節してください。 ただし、PAL方式のDVDオーディオでは、“ U1 ”の設定は働きません。	26
	ビデオCDでコマ戻し、スロー再生の戻り方向ができない	ビデオCDではできません。	−
	DVD-RAMで番組の頭にスキップされない	DVD-RAMでは、マーカーが記録されていたらマーカー位置へ、プレイリスト再生中は、シーンの開始点まで飛び越します。 コマーシャルが録画されていると、そこにスキップすることもあります。	−
	テレビ画面に障害がでる	携帯電話などの充電器が近くにあると、雑音が発生する場合があります。	−
		本体とテレビの距離を離してみてください。本体やテレビで室内の簡易アンテナを使用している場合は、屋外アンテナを使うのも一つの方法です。	34

困ったときは（つづき）

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
映像	メニュー画面が正しく表示されない	ズーム倍率を“×1.00”にしてください。	17
		GUI画面の表示設定“字幕位置移動”を“0”、または“4:3アスペクト”を“ノーマル”にしてください。	27
表示	GUI画面が欠ける（または表示されない）	GUI画面表示中、カーソルボタン[◄、►]を押して右側の矢印アイコンを選び、[▲、▼]を押して上下に移動させてください。	25
	画面メッセージがでない	初期設定「画面メッセージ」を「入」にしてください。	28
	“⃠”が表示される	ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。	―
音声	ラジオ放送で雑音やひずみが多い	付属のアンテナの向きや位置を変えてみてください。またはAMループアンテナを本体から離してください。送信所が遠い、または近くに大きなビルや山がある場合は、屋外アンテナを使うのも一つの方法です。	34
	ダイアログエンハンサーがきかない	速度変換モード中は働きません。	27

用語解説

AAC（Advanced Audio Coding）（アドバンスド オーディオ コーディング）

BSデジタル放送などに用いられる音声圧縮方式のひとつです。

I／P／B

DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは画面ごとに記録しています。

I-picture： 共用データの基準として単独で記録されるフレーム
P-picture： 過去のI-picture、またはP-pictureを元につくられるフレーム
B-picture： I／P両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム

I-pictureの画質がもっとも良く、画質調整をするときは、I-pictureで一時停止することをおすすめします。

インターレース出力/プログレッシブ出力

従来の映像信号（NTSC）は525I（I：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その525I信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525P（P：プログレッシブ＝順次走査）といいます。

MP3（MPEG Audio Layer 3）（エムペグ オーディオ レイヤー）

元の音質をあまり損なうことなく音声を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。１秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、回数が多いほど原音に近い音を再現できます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

プレイバックコントロール（PBC）

ビデオCDを再生する方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。

PPCM（パックトPCM）

ひずみなく圧縮し、デジタルに置き換えられた音声信号です。

LPCM（リニアPCM）

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。

著作権

主な仕様

■パワーアンプ部

項目	仕様
実用最大出力	総合出力 310 W
1 kHz（全高調波歪率10%）	
フロント	30 W×2（6Ω）
センター	54 W（6Ω）
サラウンド	38 W×2（6Ω）
100 Hz（全高調波歪率10%）	
サブウーハー	120 W（6Ω）

■プリアンプ部

項目	仕様
入力感度／入力インピーダンス	
VCR/AUX	350 mV,10 kΩ
TV	350 mV,10 kΩ

■FMチューナー部

項目	仕様
受信周波数帯域	76.0～90.0 MHz（100 kHz ステップ）
アンテナ端子	75Ω不平衡

■AMチューナー部

項目	仕様
受信周波数帯域	522～1629 kHz（9 kHz ステップ）

注）1　この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
　　2　全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第10次高調波までの総和です。

高調波ガイドライン適合品

■DVD/CD部

項目	仕様
ピックアップ	
光源	半導体レーザー
波長	CD/VCD：790 nm DVD：658 nm

再生可能ディスクタイプ
- DVDオーディオ　● DVDビデオ
- DVD-RAM/R（DVDビデオ規格準拠）
- CD（CD-DA）　● ビデオCD
- CD-R/RW（CD-DA、ビデオCD、WMA、MP3フォーマット）

項目	仕様
オーディオ	
チャンネル数	5.1チャンネル（FL、FR、C、SL、SR、SW）
ビデオ	
方式	NTSC
出力端子	RCAピン端子（コンポジット） S端子（Y、C） D端子 コンポーネント端子

■総合

項目	仕様
電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	100 W
待機時	約0.4 W
寸法（幅×高さ×奥行き）	280×67×316.2 mm（つまみ、端子を含む）
質量	約2.4 kg

■スピーカー部

SB-FS801 **SB-PC801**

項目	仕様
型式	1ウェイ1スピーカーシステム、バスレフ型
使用スピーカー	
フルレンジ	6.5 ㎝コーンタイプ
インピーダンス	6Ω
許容入力	60 W（Music）
出力音圧レベル	79 dB/W（1.0 m）
再生周波数帯域	110 Hz～25 kHz（－16 dB） 130 Hz～22 kHz（－10 dB）

SB-FS801

項目	仕様
寸法（幅×高さ×奥行）	110×226×133 ㎜（スタンドを含む）

SB-PC801

項目	仕様
寸法（幅×高さ×奥行）	181×139×133 ㎜（スタンドを含む） 181×161×133 ㎜（スタンドとスペーサーを含む）
質量	約0.93 kg

SB-WA301

項目	仕様
型式	1ウェイ1スピーカーシステム、バスレフ型
使用スピーカー	
アクティブサブウーハー	17 ㎝コーンタイプ
インピーダンス	6Ω
許容入力	200 W（Music）
出力音圧レベル	80 dB/W（1.0 m）
再生周波数帯域	40 Hz～220 Hz（－16 dB） 45 Hz～180 Hz（－10 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）	156×457×424 mm
質量	約10.8 kg

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、DVDシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

本機は一般家庭用として作られています。一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

修理を依頼されるとき

37～40ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料　は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代　は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料　は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品名	DVDシステム
品番	SC-MT1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）
0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0602

Panasonic®

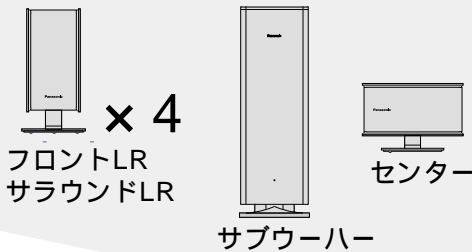
設置接続編

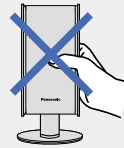
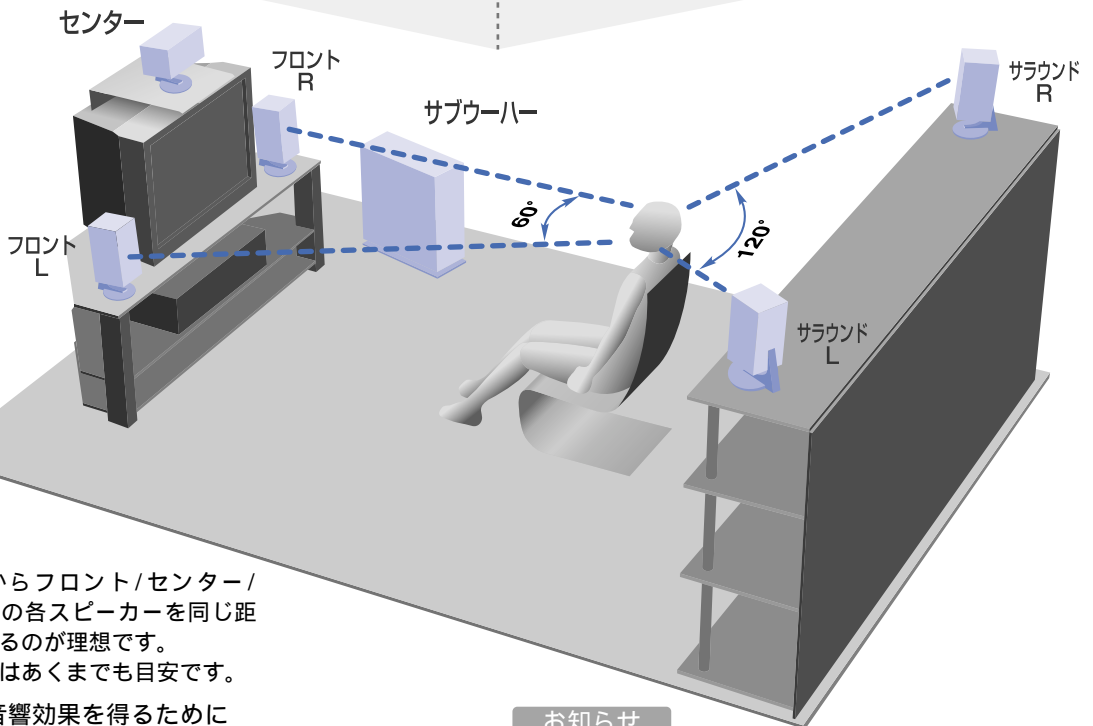
DVDシステム
取扱説明書
品番 **SC-MT1**

ステップ1

スピーカーを設置しよう！

フロントLR
サラウンドLR
×4

サブウーハー

センター

持ちかた

内部にスピーカーユニットが入っています。
力を加えると、故障する場合があります。

視聴位置からフロント/センター/サラウンドの各スピーカーを同じ距離に設置するのが理想です。
なお、角度はあくまでも目安です。

より良い音響効果を得るために
- 床や壁から10 cm以上離して設置する。
- 平らで安定した場所に設置する。
- スピーカーの周りには、できるだけ物を置かない。

落下の危険がありますので、必ず水平な場所にぐらつきなどのないように設置してください。それ以外の場所への設置は、落下防止などの十分な安全対策を行ってください。

お知らせ
- 本体とサブウーハーは放熱効果維持のため、他のスピーカーや機器から1 cm以上離してください。
- センタースピーカーを直接テレビの上に設置すると、振動によりテレビの画面が乱れることがあります。ラックや棚などに設置してください。
- スピーカーネットの取り外しはできません。

ステップ 2

スピーカーコードにシールを貼ろう！

短い×３（4m）
長い×２（10m）

○
×

短い

赤銅色

＋

－

銀色

フロント FRONT Lch ①

フロント FRONT Rch ②

センター CENTER ⑤

長い

サラウンド SURROUND Lch ③

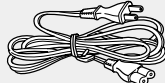
サラウンド SURROUND Rch ④

ステップ 3

スピーカーをつなごう！

ステップ 4

コードをつなごう！

システムケーブル

電源コード

FM簡易型
アンテナ

AMループ
アンテナ

映像ケーブル

サブウーハー

AMループ
アンテナ

カチッ！

壁や柱にテープ
で止める

テレビ（別売）

映像入力

FM簡易型
アンテナ

突起（裏側）
を下側に

映像ケーブルは、直接
テレビに接続する

映像ケーブル

本体後面

はずすときは
突起を押しな
がら引く

映像
出力

システムケーブル

カチッ！

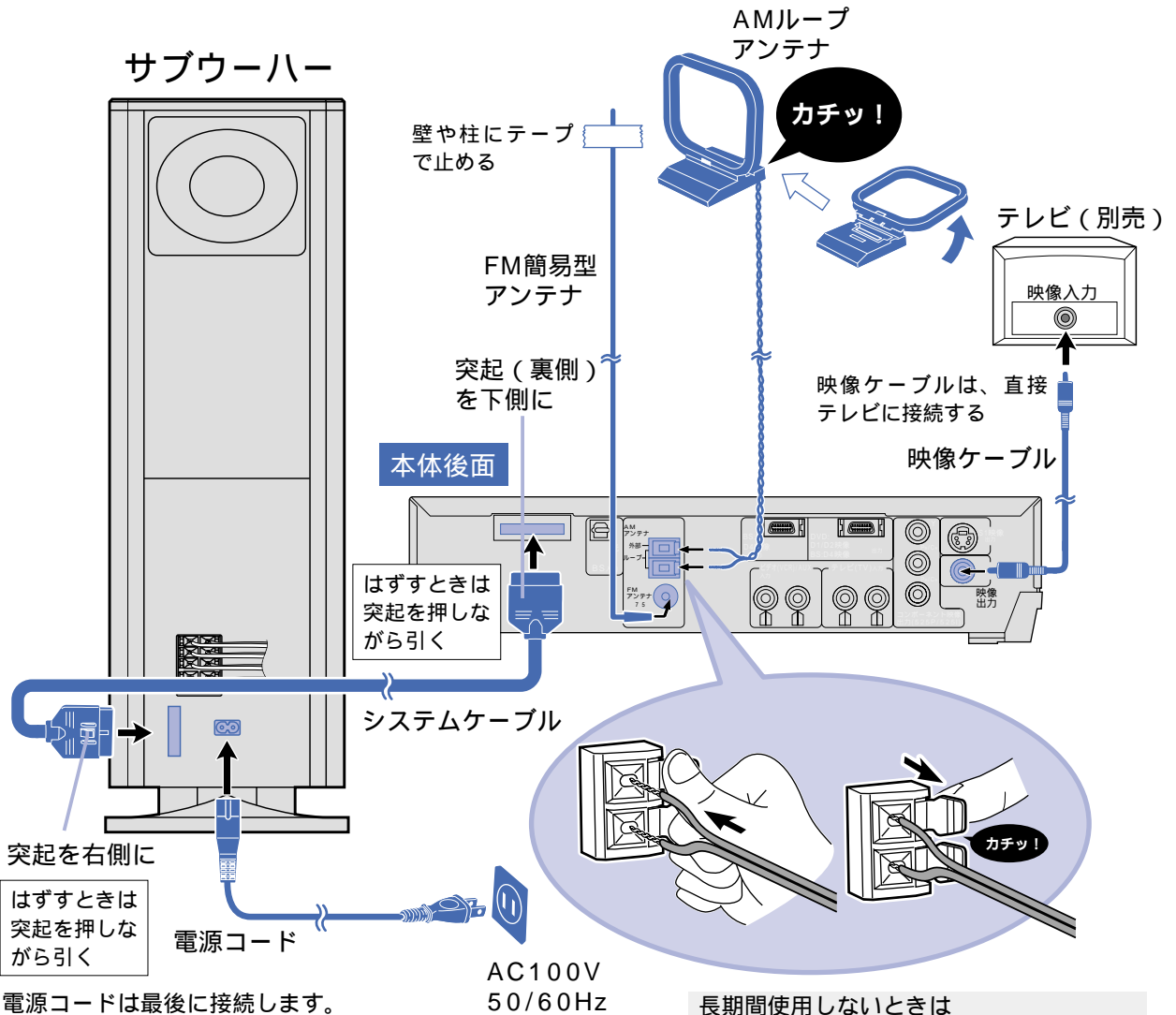
突起を右側に

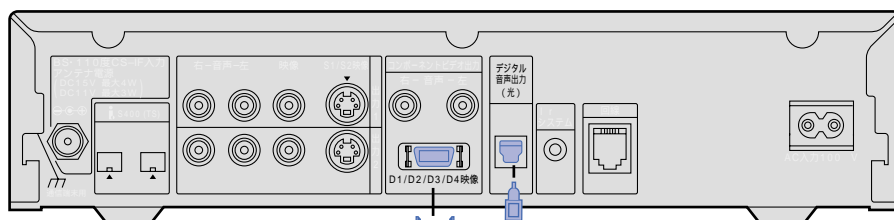
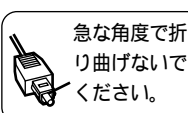
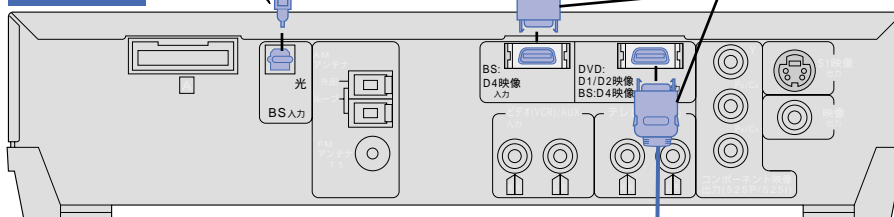
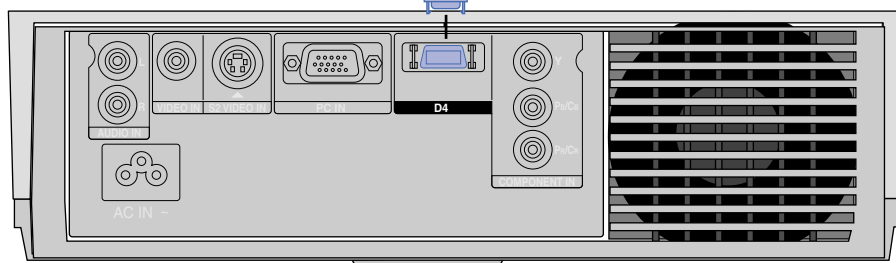
はずすときは
突起を押しな
がら引く

電源コード

AC100V
50/60Hz

電源コードは最後に接続します。

長期間使用しないときは
節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。ただし、再使用時には各種メモリーの再設定が必要な場合があります。

BSデジタルハイビジョンチューナー（TU-BHD300)と液晶プロジェクター(TH-AE200、AE300)をお買い求めのお客様へ

当社製液晶プロジェクター（TH-AE200/TH-AE300）と組み合わせることにより、大画面で迫力ある映像をお部屋で楽しむことができます。さらに当社製BSデジタルハイビジョンチューナー（TU-BHD300）と組み合わせることで、BS/CSデジタルハイビジョン放送を映画館のように大画面、高音質、マルチチャンネルで楽しむことができます。
液晶プロジェクター（TH-AE100）とBSデジタルハイビジョンチューナー（TU-BHD250/200）の接続については、それぞれの取扱説明書をお読みください。

本機のリモコンで、以下のことができます。（操作編➪33ページ）

液晶プロジェクター：●電源「入」「切」 ●入力切り換え ●メニュー選択

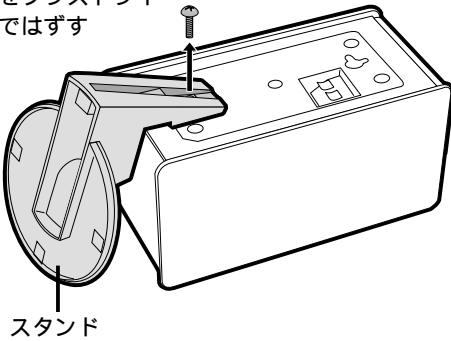
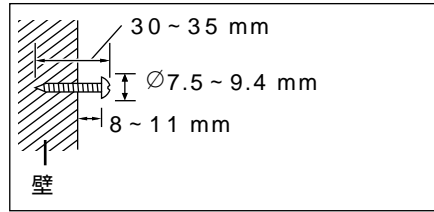
BSデジタルハイビジョンチューナー：●電源「入」「切」 ●放送切り換え ●チャンネル切り換え

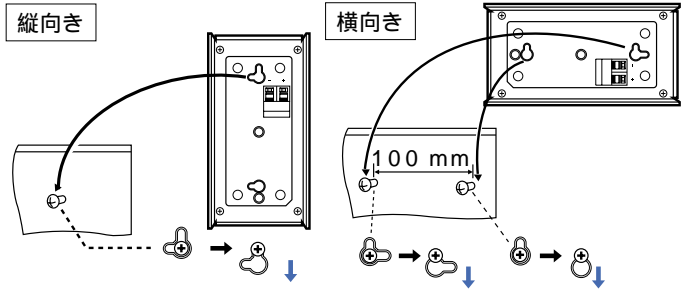
液晶プロジェクターやBSデジタルハイビジョンチューナーの詳細はそれぞれの取扱説明書をよくお読みください。

スピーカーを壁に取り付ける

❶ スタンドを取りはずす

外す前に！

- スピーカーコードをスタンドの穴に通しているときは、はずす。
- 布など柔らかいものの上に置く。

❷ 壁にネジ（市販）を取り付ける

壁に5 kg以上の重量を支えられる強度が必要です。くわしくは、施工者の方などにご相談ください。

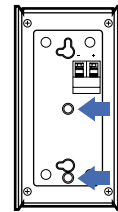
❸ スピーカーのネジ穴にネジをしっかりとはめ込む

スピーカースタンド（市販）に取り付ける

準備

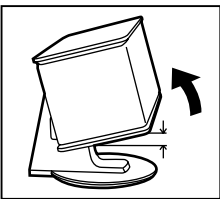
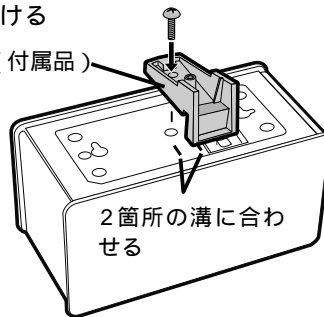
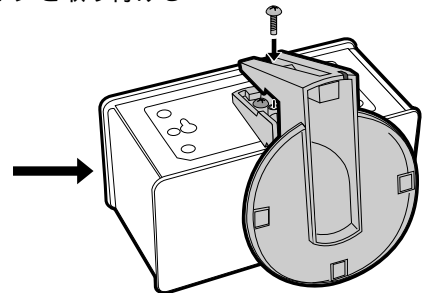
スタンドを取りはずす（➪上記手順 ❶）

スピーカースタンドをお買い求めの際は、下記の点をご確認ください。

- スピーカーを取り付けるためのネジの径および長さ、ネジとネジとの間隔が右図のようになっていること。
- 5 kg 以上の重量に耐えうる強度を持っていること。
- スピーカーの位置を高くしても、安定した設置が可能であること。

スピーカーのネジ穴に取り付ける

センタースピーカーの角度を上げる

準備

スタンドを取りはずす
（➪上記手順 ❶）
取りはずしたネジは手順1で使います。

1 スタンドからはずしたネジを取り付ける

2 スタンドをスペーサーにかぶせて付属のネジを取り付ける

防磁設計について

- 本スピーカーは、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム（防磁設計 JEITA※）ですが、設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度、テレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石等、磁気を発生するものが置かれている場合には、本スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置にご注意ください。

※（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

松下電器産業株式会社　AVCネットワーク事業グループ
〒571−8505　大阪府門真市松生町1番4号

RQT6813-S
F1002HT0